



佐賀県立九州陶磁文化館

平成 30 年度年報・資料目録No.38

Annual Report &

Catalogue of Collections No.38

The Kyushu Ceramic Museum

2018.4 ~ 2019.3

は じ め に

このたび、平成 30 年度の事業概要をまとめました。

平成 30 年度は特別企画展として「人間国宝 中島宏氏寄贈 古武雄
一ふるさと大地の記憶」、明治維新 150 年記念展として「幕末明治 有
田の豪商一蔵春亭と肥磔山信甫」と「有田晩香窯一明治から平成の
窯元の軌跡一」を開催しました。

その他、有田国際陶磁展をはじめ、全部で 15 の展覧会が開かれ、
陶芸文化の向上に貢献しました。

教育普及活動では、生涯学習の一環として、一般の方を対象にした
館蔵の名品に触れて鑑賞する陶芸文化講座を開催しました。

この他、全国各地の機関から依頼された調査研究活動などへの協力
も行いました。

当館の各種事業についても、今後、一層の充実に努めてまいります
ので、引き続き関係各位の御指導と御協力をお願い申し上げます。

佐賀県立九州陶磁文化館
館 長 鈴 田 由 紀 夫

目 次

はじめに	1
目 次	2
館の概要	
設立の目的 活動の目的	3
沿革	4
施設・設備の概要	5
組織・職員等	8
佐賀県立博物館施設資料購入指針	10
佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程	11
佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領	14
事業日誌	15
展示活動	
1. 常設展	16
2. 企画展・テーマ展など	27
3. 利用状況	42
4. 館蔵資料の貸出	43
5. 館蔵資料等の閲覧・撮影・画像原稿借用・画像使用等	43
教育普及活動	
1. 展示案内	44
2. 地域主催イベントとの関連行事	45
3. 陶芸文化講座	46
4. 印刷物等の刊行	47
5. 依頼資料調査	48
6. 講演など	48
調査研究活動	
1. 調査	49
2. 調査協力など	50
3. 大韓民国国立光州博物館学術交流協定書締結	51
資料収集活動	
1. 陶磁資料の収集	52
2. 図書資料の収集	52
館蔵資料目録	53

館の概要

設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁器をはじめ、各地域において、独自の伝統を継承発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料をあまねく収集・保存・展示し、あわせて調査研究や教育普及活動を行います。したがって当館は、九州の陶芸文化に関する総合的施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしています。

活動の目的

・展示活動

展示室は、5室に分かれ、そのうち九州陶磁の歴史展示室（第4展示室）においては、九州の陶磁の歴史を、実物あるいは図表・年表・写真などによって学ぶことができる仕組みになっています。柴田夫妻コレクション展示室（第5展示室）は江戸時代の有田焼を多数展示しています。他の3室では、企画展、その期間外は九州の古陶磁や現代陶芸の常設展示、あるいは随時個人もしくは団体の陶芸展を開催しています。

・収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、歴史的、系譜的に資料（陶磁器・出土資料・古文書・古記録等）の調査収集を行っています。また資料の充実を図るため、資料の購入をはじめ寄贈・寄託資料の受入れにも努力しています。

・調査研究活動

九州の陶芸あるいは陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など色々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また、学術講演会や研究の交流を通じて研究の進展を図っています。

・教育普及活動

陶芸文化講座等を行って陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸実習室を創作活動の場として提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。



沿革

- 昭和 48. 1. 8 有田町長外、国際陶芸美術館建設について陳情
- 昭和 51. 4 陶芸文化施設調査費を計上
52. 4 陶芸文化施設調査費を計上
52. 6 佐賀陶芸文化センター（仮称）建設計画案を作成
52. 11 基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約
52. 11. 24 第1回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催
52. 12. 8 佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立（会長 鍋島直紹）
53. 2. 28 基本設計完了
53. 3. 29 建設費関係予算決定（約19億円）
53. 4. 1 専任職員3名を配置
53. 11. 15 建設工事入札
53. 12. 20 設備工事入札
53. 12. 27 用地譲渡契約締結（有田町より無償譲渡）
54. 1. 16 起工式
54. 5. 11 正式名称打合会（「西日本陶磁文化館」の案）
54. 7. 6 正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」
（英文名称 THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM）と決定
54. 10. 3 外構・植栽工事入札
55. 3. 25 佐賀県立九州陶磁文化館竣工（建設工事費：1,745,100千円）
55. 3. 27 佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布
55. 11. 1 開館
- 平成 元. 6. 12 染付鷲文三足大皿が重要文化財に指定
5. 3. 25 柴田夫妻コレクション展示室完成
5. 4. 29 柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室
6. 4. 1 旧窯業技術センター跡地(12,011.00 m²)を当館敷地として所管換
12. 2. 22 玄関自動ドア設置
12. 12. 4 染付山水文輪花大皿が重要文化財に指定
12. 12. 28 からくり時計設置
14. 3. 20 来館者用トイレ改修・増設
18. 3. 31 有田磁器（柴田夫妻コレクション）10,311点が国登録有形文化財（美術工芸品）に登録
26. 3. 31 防犯カメラ改修・新設
26. 8. 31 エントランス照明設置
27. 3. 16 身障者駐車場屋根設置
27. 3. 16 収蔵庫棚新設
27. 3. 20 館内 Wi-Fi 環境整備
28. 3. 24 館内案内タブレット PC「九陶ナビ」（多言語対応）整備
30. 3. 30 館内案内タブレット PC「九陶ナビ」（多言語対応）コンテンツ追加（18作品）
- 30.10. 4 来館者用トイレ改修(洋式化等)
- 31.1. 21 非常用発電機更新
- 31.3. 27 大韓民国国立光州博物館との学術交流協定締結

施設・設備の概要

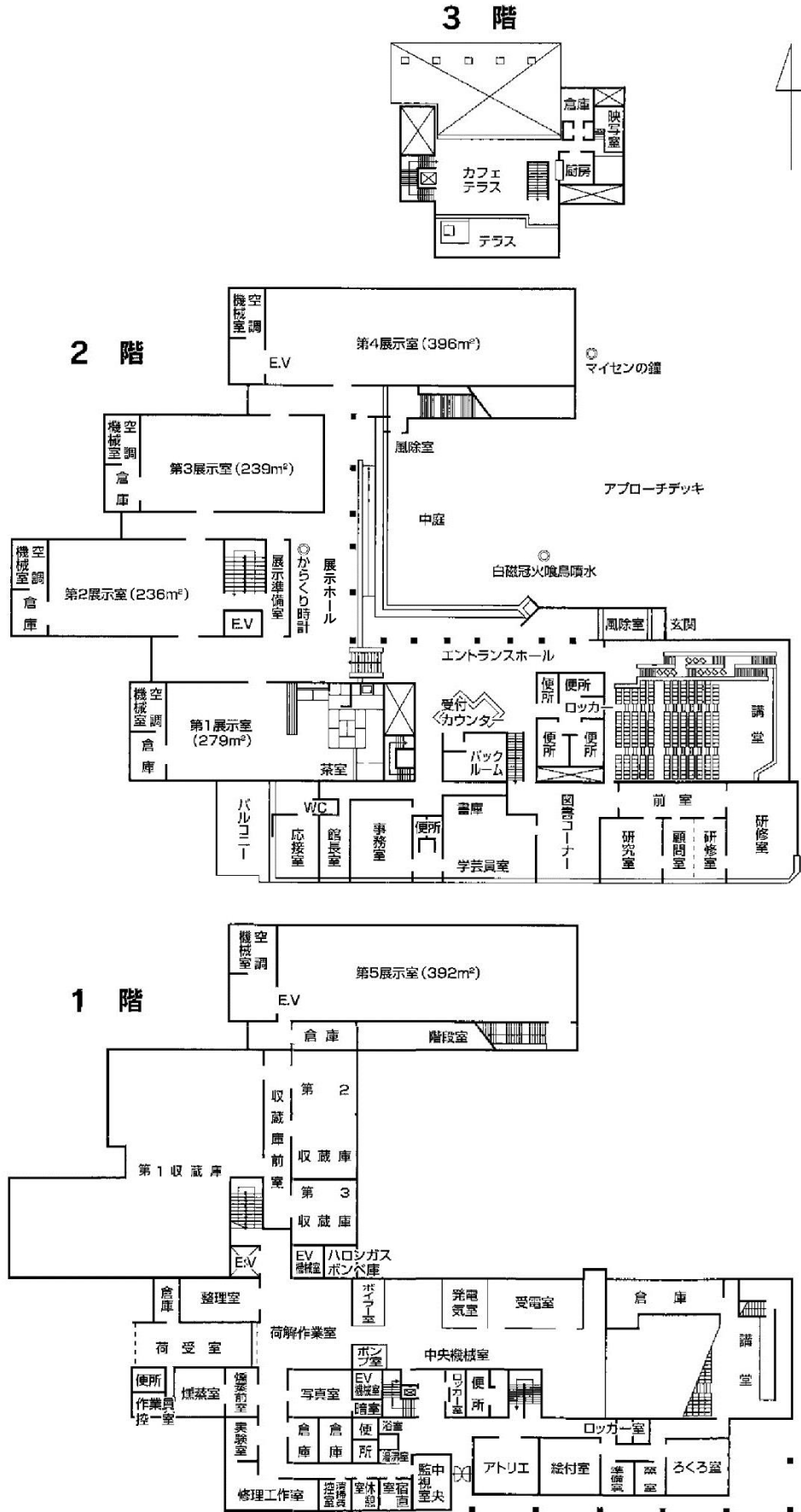
所在地	佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
設計管理	内田祥哉+アルセッド建築事務所
施工業者	(1) 建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体 (2) 設備工事・電気設備…新生電気・宮園電気共同企業体 (3) 空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体 (4) 給排水設備…葉隠設備工業（株） (5) 植栽…中村永楽造園土木（株）
工期	昭和 54 年 1 月 16 日～昭和 55 年 3 月 25 日
規模	(1) 敷地面積：43,619.59 m ² (2) 建築面積：3,831.93 m ² (3) 延床面積：6,526.54 m ² (4) 構造：鉄筋コンクリート造地上 2 階、一部 3 階建
主要設備	(1) 電気設備 契約電力：320kw（6,000V 受電） 発電機：125kw（220V） (2) 空調設備 冷暖房：吸収冷温水機（能力 544,320.0 kcal/h）平成 6 年施工 その他：防排煙連動操作設備（防火シャッター、排煙ファン）等 (3) 給排水設備 給水設備：町水道使用、受入槽 30t（15t 2 基） 排水設備：町公共下水道 消火設備：屋内消火槽、ハロンガス消火設備等 その他：給湯設備、身障者便所等

〔単位：㎡〕

部 門	室 名	室数	面 積	部 門	室 名	室数	面 積
展示施設	第 1 展 示 室	1	279.56	研究施設	研 究 室	1	54.58
	第 2 展 示 室	1	236.95		実 験 室	1	19.21
	第 3 展 示 室	1	239.54		そ の 他	1	56.05
	第 4 展 示 室	1	396.26		小 計		129.84
	第 5 展 示 室	1	392.13	管理施設	機 械 室		355.69
	展示準備室・倉庫	1	169.70		事 務 室 等		553.99
	小 計		1714.14		小 計		909.68
収蔵施設	第 1 収 蔵 庫	1	532.68	共通施設	展 示 ホ ー ル		406.73
	第 2 収 蔵 庫	1	105.50		エントランスホール		284.15
	第 3 収 蔵 庫	1	52.44		そ の 他		868.61
	そ の 他	1	553.80		小 計		1559.49
	小 計		1244.42				
研修施設	講 堂	1	385.49	合 計			6526.54
	陶 芸 実 習 室	4	122.38				
	一 般 研 修 室	2	203.76				
	図 書 コ ー ナ ー	1	102.49				
	そ の 他		154.85				
	小 計		968.97				

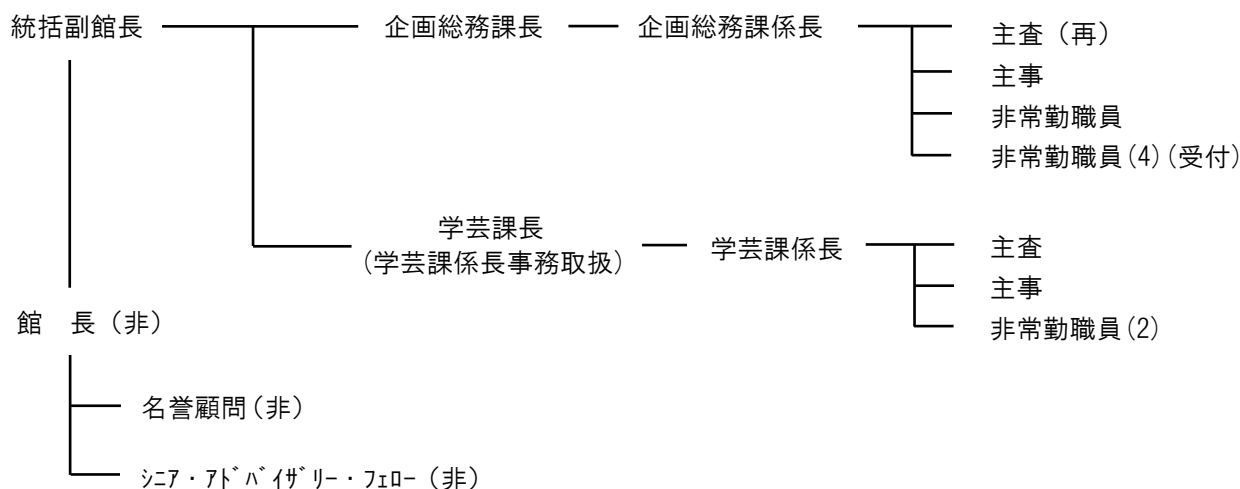
施設

施設平面図



組織・職員等

1. 組織



※(非)は非常勤職員。(再)は再任用職員。

2. 職員

職 名	氏 名	事 務 分 掌
館長	鈴木 由紀夫	館の代表
名誉顧問	大橋 康二	名誉顧問
統括副館長	中村 一弘	館の総括
シニア・アドバイザー・フェロー	家田 淳一	調査・研究・展示・普及等にかかるアドバイス及び支援
企画総務課長	平川 裕子	課の総括
企画総務課係長	柿塚 敬三	係の総括、企画・広報、予算・決算総括
主査(再)	黒木 淳一郎	広報、財産管理(備品)、支出(他担当分を除く)、文書、収入(図録等以外)
主事	原口 俊介	予算・決算、庁舎・財産管理(備品を除く)
非常勤職員	樟 道代	収入(図録等)、物品管理、普及啓発
非常勤職員	大曲 身江子	受付・窓口業務、図録・グッズ在庫集計、揭示物等管理
非常勤職員	空閑 真弓	受付・窓口業務、図録・グッズ在庫確認、揭示物等管理
非常勤職員	七種 理恵子	受付・窓口業務、図録・グッズ在庫確認、揭示物等管理
非常勤職員	引田 幸子	受付・窓口業務、図録・グッズ在庫確認、揭示物等管理、館内表示作成、入館者集計
学芸課長	徳永 貞紹	課の総括
学芸課係長	藤原 友子	係の総括、研究・収集・管理、普及・展示
主査	山本 文子	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示
主事	宮木 貴史	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示
非常勤職員	小林 祐子	観覧者への説明案内、団体予約管理、資料管理、展示補助
非常勤職員	山口 由佳	観覧者への説明案内、団体予約管理、英語対応

平成31年3月31日現在

3.協議会委員（任期：平成29年6月23日～平成31年6月22日）

※新委員(任期：平成30年6月23日～平成31年6月22日)

氏名	役職名
青木 一功※	県議会議員
荒木 眞衣子	公募委員（食空間コーディネーター）
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会 会長
尾崎 葉子	有田町歴史民俗資料館 館長
小林 知美	筑紫女学園大学 准教授
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会 会長
佐藤 清美	煎茶道売茶流 会員
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会 副会長
深川 祐次	有田商工会議所 会頭
藤生 雄一郎	佐賀新聞社編集局生活文化部主任
松尾 佳昭※	有田町長
前田 なつき	西有田中学校 教諭
古川 朋子	有田町婦人会 会員
中尾 順子	有田小学校 P T A母親委員長

平成31年3月31日現在

4. 資料専門委員（任期：平成29年9月1日～平成31年8月31日）

氏名	役職名
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会 会長
酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会 会長
中里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会 副会長
福原 透	八代市立博物館未来の森ミュージアム 副館長

平成31年3月31日現在

佐賀県立博物館施設資料購入指針

(趣旨)

第1条 この指針は、規則その他規程に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館（以下「各館」という。）の資料購入を行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて別途定める「佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「委員会」という。）」において、選定するものとする。

(資料購入費の配分)

第3条 委員会事務局は、各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。

2 購入資料の選定後、文化課は各館からの申請により資料購入費を再配当する。

(購入予定資料の評価)

第4条 委員会で選定した購入資料のうち、一件の購入予定価格が400万円以上のものについては、当該資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入予定価格の如何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入とりやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することとする。

(資料の購入先)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ケ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附則

(適用期日)

1 この指針は、平成24年5月9日から適用する。

佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程

平成 29 年 4 月 1 日改正

(趣旨)

第 1 条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館（以下「陶磁文化館」という。）が陶磁文化館資料（佐賀県財務規則（平成 4 年佐賀県規則第 3 5 号。以下「財務規則」という。）第 1 4 3 条第 2 項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。）の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行う場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

(資料の分類)

第 2 条 資料の分類は、別表 1 の分類により整理するものとする。

(資料の購入)

第 3 条 陶磁文化館で購入する資料は、すべて佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会（以下「資料専門委員会」という。）で選定し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「調整委員会」という。）において決定するものとする。

2 陶磁文化館の常勤の館長又は統括副館長（以下「常勤館長等」という。）は、調整委員会で購入を決定した資料のうち 1 件あたりの購入予定額が 4 0 0 万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書（別記様式第 1 号）により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定額の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。

3 常勤館長等は、前項の規定による評価の結果により購入を取り止めようとする場合又は購入が不可能と判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は、調整委員会へ速やかにその旨を報告するものとする。

(資料の寄贈)

第 4 条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書（別記様式第 2 号）により常勤館長等に申し込まなければならない。

2 常勤館長等は、前項の規定により申込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書（別記様式第 3 号）を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1 件あたりの時価見積額が 4 0 0 万円以上の資料については、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。

3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書（別記様式第 4 号）を送付するものとする。

(資料の寄託及び一時預り等)

第 5 条 陶磁文化館に資料を寄託（1 年以上の期限を定めた寄託に限る。）しようとする者は、資料寄託申込書（別記様式第 5 号）により常勤館長等に申し込まなければならない。

2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書（別記様式第 6 号）により所有者の承諾を得なければならない。

3 寄託の申し込みのあった資料で常勤館長等が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入調書（別記様式第 7 号）を作成し、受入れを決定するものとする。

4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書（別記様式第 8 号）により契約を締結した後、寄託資料台帳（別記様式第 9 号）にその旨を登載するものとする。

5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対し、資料一

時預り証（別記様式第10号）を発行するとともに、一時預り資料台帳（別記様式第11号）にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。

- 6 埋蔵文化財（出土品）等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳（別記様式第12号）にその旨を登載する。

（資料の整理）

第6条 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料一件ごとに資料カード（別記様式第13号）を作成し、整理しなければならない。

- 2 前項の資料には、資料ラベル（別記様式第14号）を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付し、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
- 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤枠で表示し区別するものとする。

（資料の貸出し）

第7条 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、業務に支障がない場合に限り、常勤館長等が貸出しを許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書（別記様式第15号）又はこれに準ずる申請書を常勤館長等に提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者（第5条第6項に規定する場合は、当該資料を管理している者。第8条第2項において同じ。）の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 常勤館長等は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出帳（別記様式第16号）にその旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書（別記様式第17号）を交付するものとする。また、貸出しに際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
- 4 資料の貸出しを行なう場合又は返納を受ける場合は、物品出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損又は亡失があったときは、常勤館長等は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

（資料の公開・特別利用）

第8条 資料の公開は、陶磁文化館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、印刷物・電子媒体等での画像使用、複製等（以下「特別利用」という。）を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、常勤館長等は条件を付してその利用を許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書（別記様式第18号）又はこれに準ずる申請書を常勤館長等に提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければならない。

- 3 常勤館長等は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿（別記様式第19号）にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書（別記様式第20号）を交付するものとする。
- 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
- 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を常勤館長等に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

（補足）

第9条 この規定に定めるもののほか、資料の取扱いについて必要な事項は、別に常勤館長等が定める。

附 則

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

佐賀県立九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(使用の申込み)

第2条 九州陶磁文化館の施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書（以下「申込書」という。）（様式第1号）を九州陶磁文化館の常勤の館長又は統括副館長（以下「常勤副館長等」という。）に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、常勤副館長等が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

(使用の承認等)

第3条 常勤副館長等は、申込書を提出した者に対し、施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

2 常勤副館長等は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。

- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集団的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

(使用目的の変更等の禁止)

第4条 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

(使用者の義務)

第5条 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他常勤副館長等の指示に従うこと。

(使用承認の取消し等)

第6条 常勤副館長等は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の承認を取り消

し、又は使用の中止を命ずることができる。

- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに該当することが明らかとなった場合
- 三 前二条の規定に違反した場合

2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に損害を生ずることがあっても、これに対する補償は行わないものとする。

(弁償)

第7条 使用者は、施設等の使用において資料又は施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、常勤副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会その他の会合に参加している者が前項に掲げる行為を行った場合についても、常勤副館長等の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

(光熱水費の負担)

第8条 常勤副館長等は、使用者が使用に際して相当の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に対して相当の光熱水費の負担を求めるものとする。

2 使用者は、前項の規定により、常勤副館長等から光熱水費の負担を求められた場合は、指示された期限までに納入しなければならない。

(収益等を伴う場合の取扱い)

第9条 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書(略)

様式第2号 九州陶磁文化館使用承認書(略)

事業日誌

平成 30. 4.29 「第 115 回有田国際陶磁展」 (～5.6)

6. 5 「第 27 回陶千坊展」 (～6.10)

6.20 「第 39 回九州新工芸展」 (～7.1)

7.22 「第 31 回現代工芸美術九州会展」 (～7.29)

8. 3 明治維新 150 年記念展「幕末明治 有田の豪商一蔵春亭と肥後山信甫一」 (～9.2)

9. 8 「第 17 回伊万里・有田焼伝統工芸士展」 (～9.17)

10. 6 寄贈記念特別企画展「人間国宝 中島宏氏寄贈 古武雄一ふるさと大地の記憶」 (～11.25)

12. 15 明治維新 150 年記念展「有田晩香窯一明治から平成の窯元の軌跡一」 (～1.14)

平成 31. 1.22 「第 50 回有田工業高等学校卒業制作展」 (～1.27)

1.29 「第 37 回西松浦郡小・中学校学童美術展」 (～2.3)

2. 5 「第 3 回九陶陶芸教室 OB 有志展」 (～2.11)

2. 19 「第 33 回有田窯業大学校卒業制作展」 (～2.24)

2.26 「第 30 回九州陶磁器デザイナー協会展」 (～3.3)

3. 2 平成 30 年度 陶芸文化講座 (午前・午後)

3.12 「第 34 回有田陶交会展」 (～3.17)

3.19 「深川篤 回顧展」 (～3.31)

展 示 活 動

1. 常設展

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。順路は第4展示室（九州陶磁の歴史）から始まり、第5展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）を經由して第2展示室（現代の九州陶芸）で終わります。

内容的には九州の陶磁の基礎的学習ができる第4展示室、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクションの第5展示室、九州の古陶磁を鑑賞する第3展示室、九州の現代陶芸を鑑賞する第2展示室というそれぞれの特色があります。

これらの展示は、第2・3展示室は平成27年12月12日に展示内容を一新しました。

大規模な企画展が開かれる場合は、九州陶磁の歴史展示室、柴田夫妻コレクション展示室を除いて他の2室は一時的に撤収し、対応しています。

会 期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
休館日の月曜日と年末の休館日
(12/29～12/31)を除く

展 示 室 第2展示室、第3展示室及び展示ホール
第4展示室（九州陶磁の歴史展示室）
第5展示室（柴田夫妻コレクション展示室）

入 館 者 50,474人 1日平均158人



展示ホール

(1) 九州陶磁の歴史展示室（第4展示室）

この展示室では、やきものについての基礎的な知識をはじめ、中国・朝鮮の強い影響のもと、日本の、とりわけ九州の陶磁器がどのように発展してきたか、古代・中世から近世・近代までの流れを紹介しています。特に、肥前で生産された磁器については、その生産の技術や国内での流通及び海外との貿易についても説明しています。また、陶器や磁器の具体的な製作工程や装飾技法についても学ぶことができます。

展示内容を詳しく解説した冊子「土と炎」を刊行しています。

なお、江戸時代に海外輸出された有田焼の蒲原コレクション101点は、この展示室で御覧になれます。

【展示内容】

1. やきものの基礎知識
2. 中国・朝鮮の陶磁の流れ
3. 日本の陶磁の流れ
4. 九州陶磁の展開（タッチパネル）
5. 九州の陶器
6. 磁器の始まり
7. 有田・大川内山の登窯
8. 窯跡復元模型
9. 九州の磁器
10. 古伊万里とオランダ貿易
11. ヨーロッパの古伊万里
12. 蒲原コレクション
13. 近代の九州陶磁
14. 装飾技法
15. 陶片にみる肥前のやきもの
16. 陶器と磁器の制作工程



第4展示室

(2) 柴田夫妻コレクションの展示 (第5展示室)

柴田明彦・祐子夫妻から、平成2年より15年にかけて寄贈していただいた江戸時代の有田磁器 10,311点の中から508件 1000点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史の変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなコーナーを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。

会 期 平成 31年 2月～令和 2年 2月<予定>

【コーナー】

1. 柴田夫妻の器
2. 年代による変遷
3. 江戸時代の食膳
4. 種類
5. 成形・装飾
6. 手塩皿
7. 銘の変遷
8. 芙蓉手皿の変遷
9. 出土陶片との比較



柴田夫妻の器



銘の変遷

(3) 九州の古陶磁 (第3展示室)

常設展「九州の古陶磁」は、佐賀・長崎・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の九州各県に分けて、江戸時代のやきものを紹介しています。

唐津焼の陶器に始まる肥前のやきものは、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島藩窯様式など様々な陶磁器を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。

館蔵品を中心にした展示総数は 90件 98点です。

会 期 平成 30年 9月～ (会期中企画展等のため一時的に撤収される場合がある)

【展示内容】	〈構成〉
佐賀	佐賀 【63件 67点】
1. 唐津系陶器	1. 唐津系陶器 16件 16点
2. 古伊万里・初期伊万里様式	2. 古伊万里・初期伊万里様式 5件 5点
3. 古伊万里・正保様式	3. 古伊万里・正保様式 5件 5点
4. 古伊万里・寛文様式	4. 古伊万里・寛文様式 4件 4点
5. 古伊万里・延宝・柿右衛門様式	5. 古伊万里・延宝・柿右衛門様式 4件 5点
6. 古伊万里・元禄様式	6. 古伊万里・元禄様式 6件 7点
7. 古伊万里・宝暦・天明・文政様式	7. 古伊万里・宝暦・天明・文政様式 5件 7点
8. 幕末・近代	8. 幕末・近代 4件 4点
9. 鍋島藩窯	9. 鍋島藩窯 14件 14点
九州	九州 【27件 31点】
10. 長崎の陶磁器	10. 長崎の陶磁器 8件 12点
11. 福岡の陶磁器	11. 福岡の陶磁器 6件 6点
12. 大分・宮崎の陶磁器	12. 大分・宮崎の陶磁器 2件 2点
13. 熊本の陶磁器	13. 熊本の陶磁器 4件 4点
14. 鹿児島の陶磁器	14. 鹿児島の陶磁器 4件 4点
15. 沖縄の陶磁器	15. 沖縄の陶磁器 3件 3点

No.	作品名	点数	収蔵番号	生産地	年代	寄贈者・コレクション名
1. 【 唐津系陶器 】						
1	藁灰釉水指 (斑唐津)	1	00681	肥前 岸岳	1580～1590 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 竹田礎智夫氏 寄贈
2	藁灰釉鉄釉掛分小瓶 (朝鮮唐津)	1	06797	肥前 岸岳	1580～1590 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 竹田礎智夫氏 寄贈
3	藁灰釉鉄絵壺 (絵唐津)	1	00623	肥前 岸岳系	1580～1610 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
4	灰釉茶碗 銘「瑞雲」	1	06798	肥前	1590～1610 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 竹田礎智夫氏 寄贈
5	鉄絵草文片口 (絵唐津)	1	04848	肥前	1590～1610 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
6	鉄絵柳文向付 (絵唐津)	1	00101	肥前	1590～1610 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
7	鉄釉叩き壺	1	01978	肥前	1580～1600 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
8	灰釉鉄釉振掛茶碗	1	02681	肥前	1600～1630 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
9	象嵌幾何学文水指	1	13923	肥前 武雄	1610～1630 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 中島宏コレクション
10	打刷毛目文大皿	1	14028	肥前 武雄	1690～1740 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 中島宏コレクション
11	緑褐釉櫛目花文大皿	1	13449	肥前 武雄	1650～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 中島宏コレクション
12	鉄絵緑彩松樹文甕	1	13603	肥前 武雄	17 世紀第 4 四半期	佐賀県立九州陶磁文化館 中島宏コレクション
13	呉須絵竹虎文水指	1	05203	肥前	1660～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
14	呉須絵鶴文菱形筆筒 (献上唐津)	1	06843	肥前 唐津・御茶盃窯	18 世紀末～19 世紀中葉	佐賀県立九州陶磁文化館 高取紀子氏 寄贈
15	象嵌雲鶴文大皿 (献上唐津)	1	06838	肥前 唐津・御茶盃窯	18 世紀末～1860 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 高取紀子氏 寄贈
16	褐釉人麿人形	1	00802	肥前	19 世紀	佐賀県立九州陶磁文化館 竹田恒夫氏 寄贈
2. 【 古伊万里・初期伊万里様式 】						
17	染付蔓草文水指	1	13369	肥前 有田	1610～1630 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
18	染付松文皿	1	05204	肥前 有田 天神森窯	1610～1630 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
19	染付唐人山水文大皿	1	06673	肥前 有田	1630～1640 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
20	染付雲龍文三耳壺	1	00876	肥前 武雄 百間窯	1620～1640 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
21	青磁辰砂鎗彫葉文水指	1	06031	肥前	1630～1640 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 白雨コレクション

3. 【 古伊万里・正保様式 】

22	色絵松竹岩文大皿	1	13370	肥前 有田 山辺田窯	1650 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
23	色絵山水菊唐草文大皿	1	03262	肥前 有田	1650 年代頃	佐賀県立九州陶磁文化館
24	染付草花文大皿	1	00442	肥前 有田	1650～1660 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
25	陶胎染付山水文水指	1	02315	肥前 有田	1650～1660 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
26	染付栗文変形皿	1	06699	肥前 有田	1650 年代 (「承応式歳」銘)	佐賀県立九州陶磁文化館

4. 【 古伊万里・寛文様式 】

27	色絵梅花沢瀉文瓶	1	00052	肥前 有田	1650～1660 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
28	色絵牡丹文壺	1	00440	肥前 有田	1655～1660 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
29	色絵桜花文瓢形瓶 (仁清手)	1	03423	肥前 有田	1655～1670 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
30	青磁透彫文蓋物	1	05202	肥前 有田	1660～1670 年代	佐賀県立九州陶磁文化館

5. 【 古伊万里・延宝・柿右衛門様式 】

31	染付葡萄鳥文瓢形水注	1	12430	肥前 有田	1660～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 久我利通氏・隆司氏 寄贈
32	染付龍鳳文釣鐘形水指	1	03258	肥前 有田 南川原山	1670～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
33	色絵龍虎文輪花皿 (柿右衛門様式)	1	00689	肥前 有田 南川原山	1670～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
34	色絵花鳥文六角壺 (柿右衛門様式)	2	00679	肥前 有田 南川原山	1670～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館

6. 【 古伊万里・元禄様式 】

35	色絵牡丹鳳文八角大壺	2	00761	肥前 有田	1690～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
36	色絵龍虎文大皿	1	06066	肥前 有田	1700～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 白雨コレクション
37	色絵ケンタウロス文皿	1	00350	肥前 有田	1700～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
38	色絵花鳥文透彫鉢	1	00147	肥前 有田	1700～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
39	色絵松竹梅文鮑形皿	1	00428	肥前 有田	1690～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
40	色絵赤玉雲龍文鉢	1	00606	肥前 有田	1690～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館

7. 【 古伊万里・宝暦・天明・文政様式 】

41	色絵松竹梅鶴亀文輪花皿	1	12242	肥前	有田		1720～1750 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 ジョン・コーツ氏 寄贈
42	染付樹下人物山水文楕円皿	1	05189	肥前	有田		1780～1840 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 アイリーン・フィンチ氏 寄贈
43	染付菊紋小皿・碗・猪口	3	06694	肥前	有田		1800～1830 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 高嶋俊光氏 寄贈
44	染付楼閣山水文角皿	1	05657	肥前	有田		1830～1860 年代 「嘉永四亥」箱書	佐賀県立九州陶磁文化館 工藤吉郎氏 寄贈
45	染付童子詩句文大瓶	1	03431	肥前	志田		慶応三年 (1867 年)	佐賀県立九州陶磁文化館

8. 【 幕末・近代 】

46	色絵竹林文瓶	1	05237	肥前	有田	香蘭社	明治	佐賀県立九州陶磁文化館
47	色絵吉祥文輪花大皿	1	05296	肥前	有田	精磁会社	明治 12～38 年 (1879～1905)	佐賀県立九州陶磁文化館 中野洋氏 寄贈
48	色絵波蝶文葉形長皿	1	07073	肥前	有田	深川製磁	明治～大正	佐賀県立九州陶磁文化館 高取紀子氏 寄贈
49	染付牡丹蝶文鉢 (含珠焼)	1	04547	肥前	小田志	樋口治實	明治 21～昭和 5 年 (1888～1930)	佐賀県立九州陶磁文化館 家永稜威雄氏 寄贈

9. 【 鍋島藩窯 】

50	染付松文大皿	1	06193	肥前	鍋島藩窯		1700～1740 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 白雨コレクション
51	色絵唐花文変形皿	1	00825	肥前	有田	岩谷川内	1650 年代頃	佐賀県立九州陶磁文化館
52	色絵薄瑠璃唐花文皿	1	02316	肥前	有田	岩谷川内	1650 年代頃	佐賀県立九州陶磁文化館
53	染付銚釉茄子文皿	1	00456	肥前	鍋島藩窯		1660～1680 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
54	色絵桜花文皿	1	00386	肥前	鍋島藩窯		1670～1680 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
55	染付銚釉梅樹文変形皿	1	00630	肥前	鍋島藩窯		1670～1690 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
56	色絵鶴鶴文皿	1	00607	肥前	鍋島藩窯		1700～1720 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
57	色絵椿文皿	1	13364	肥前	鍋島藩窯		1690～1720 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 小荷田謙一氏 寄贈
58	染付菊唐草文皿	1	00163	肥前	鍋島藩窯		1690～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
59	青磁染付青海波唐花文皿	1	00184	肥前	鍋島藩窯		1700～1740 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
60	青磁陽刻唐花唐草文水指	1	00058	肥前	鍋島藩窯		18 世紀	佐賀県立九州陶磁文化館
61	青磁獅子置物	1	06950	肥前	鍋島藩窯		18 世紀	佐賀県立九州陶磁文化館 高取紀子氏 寄贈
62	染付桃文大皿	1	06194	肥前	鍋島藩窯		1700～1730 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 白雨コレクション

63	染付瀧松文大皿	1	06200	肥前 鍋島藩窯	1770～1790 年代	佐賀県立九州陶磁文化館 白雨コレクション
10. 【 長崎の陶磁器 】						
64	青磁染付菊流水文三足大皿	1	00823	肥前 波佐見 長田山窯	1680～1700 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
65	染付扇面菊割文皿	5	00193	肥前 波佐見	18 世紀	佐賀県立九州陶磁文化館 鹿島鍋島家 寄贈
66	染付草花文皿	1	00879	肥前 三川内	享保八年（1723 年）	佐賀県立九州陶磁文化館
67	染付雲龍麒麟文龍耳付花生	1	00020	肥前 三川内	19 世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
68	刷毛目瓜文瓜形皿	1	00763	肥前 現川	1690～1740 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
69	三彩皿	1	00009	肥前 長与	1790～1820 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
70	染付雪景山水文段重	1	00136	肥前 亀山	1800～1860 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
71	染付縄暖簾文水指	1	06677	釜山 和館窯	17 世紀後半	佐賀県立九州陶磁文化館
11. 【 福岡の陶磁器 】						
72	藁灰釉筒茶碗	1	03418	豊前 上野 釜ノ口窯	1600～1630 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
73	褐釉茶釜形水指	1	03421	豊前 上野 釜ノ口窯	17 世紀初頭～前半	佐賀県立九州陶磁文化館
74	藁灰釉鉄釉掛分香茶碗	1	00826	筑前 高取 内ヶ磯窯	1610～1620 年代	佐賀県立九州陶磁文化館
75	叩き灰釉櫛目文水注	1	00378	筑前 高取 内ヶ磯窯	17 世紀初頭	佐賀県立九州陶磁文化館
76	染付菊形香炉	1	00121	筑前 須恵	18 世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
77	三島象嵌茶碗	1	00015	筑後 柳原	19 世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
12. 【 大分・宮崎の陶磁器 】						
78	刷毛目飴釉蓋付壺	1	00723	豊後 小鹿田	19～20 世紀	佐賀県立九州陶磁文化館
79	呉須絵龍文耳付仏花器	1	00726	日向 蓬來山(丸山)	19 世紀中葉	佐賀県立九州陶磁文化館
13. 【 熊本の陶磁器 】						
80	鉄釉藁灰釉流瓶	1	00047	肥後 小代	18 世紀後半～19 世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
81	象嵌牡丹文角水指	1	00007	肥後 八代(高田)	18 世紀中葉	佐賀県立九州陶磁文化館
82	白磁牡丹花形皿	1	00046	肥後 網田	1790～1820 年代	佐賀県立九州陶磁文化館

83	染付梅花氷裂文壺	1	02001	肥後 天草 高浜	19世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
14. 【 鹿児島陶磁器 】						
84	黒蛇褐釉茶碗	1	00578	薩摩 元立院 西餅田	17世紀後半	佐賀県立九州陶磁文化館
85	象嵌籐文水注（三島手）	1	03422	薩摩 龍門司	18世紀後半～19世紀	佐賀県立九州陶磁文化館
86	色絵金彩菊牡丹文香炉	1	00050	薩摩 壺野系	19世紀末	佐賀県立九州陶磁文化館
87	色絵牡丹梅文輪花皿	1	00849	薩摩 平佐	19世紀	佐賀県立九州陶磁文化館
15. 【 沖縄陶磁器 】						
88	褐釉瓶	1	00528	琉球 古我知	17世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
89	色絵巴紋碗	1	00486	琉球 壺屋	19世紀前半	佐賀県立九州陶磁文化館
90	三彩釉梅花文急須	1	00493	琉球 壺屋	19世紀後半	佐賀県立九州陶磁文化館

計 90 件 98 点



1 藁灰釉水指（斑唐津）
1580～1590年代 肥前・岸岳系
竹田礎智夫氏寄贈



31 染付葡萄鳥文瓢形水注
1660～1690年代 肥前・有田窯
久我利通・久我隆司氏寄贈



57 色絵椿文皿
1690～1720年代 肥前・鍋島藩窯
小荷田謙一氏寄贈



89 色絵巴紋碗
19世紀前半 琉球・壺屋窯

(4) 現代の九州陶芸 (第2展示室)

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また芸術性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動を続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂に紹介したのが第2展示室の「現代の九州陶芸」です。現在、九州5県の101名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、次いで福岡県、鹿児島県の順となります。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。また水指・茶入など茶道具関連の作品も鑑賞できます。なお、芸術院会員や重要無形文化財保持者の作品は展示ホール(有田焼からくりオルゴール時計横)に展示しています。また、寄贈いただいた青木龍山作品を毎月5~6点ずつ展示ホールに展示しています。伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

会期 平成30年1月~令和元年8月(会期中企画展等のため一時的に撤収される場合がある)

所属別構成		県別構成	
日本工芸会	59名	佐賀県	66名
日展系	32名	福岡県	16名
民陶系	2名	鹿児島県	9名
無所属	8名	長崎県	6名
計	101名	熊本県	4名
		計	101名

常設展 現代の九州陶芸

展示目録 2018.12.15~ 展示総数 101件 110点

No.	氏名	県名	作品名	製作年	経歴	所属
1	青木龍山	佐賀県	連作「胡沙の舞」	平成3年(1991)		日展
2	井上萬二	佐賀県	白磁緑釉椿彫文面取壺	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会
3	14代 酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手撫子文大皿	平成10年(1998)	館蔵	日本工芸会
4	中島宏	佐賀県	青瓷線彫文壺	平成21年(2009)	館蔵	日本工芸会
5	14代 今泉今右衛門	佐賀県	色絵薄墨墨はじき雪文鉢	平成24年(2012)	館蔵	日本工芸会
6	中里逢庵	佐賀県	叩き三島象嵌貝焼締魚文壺	平成13年(2001)	第33回日展出品	日展
7	佐々木厚	福岡県	陶壺-2016	平成28年(2016)		日本工芸会
8	熊本千治	佐賀県	蒼刻彩器 「彼方へ」	平成23年(2011)	第43回日展出品作	日展
9	久保満義	鹿児島県	滔風	平成29年(2017)	南日本美術展 第72回展出品作	日展
10	世良彰彦	福岡県	藪椿「ある庭に見る風景」	平成28年(2016)	日本現代工芸美術展出品作	日展
11	岩田義實	佐賀県	方	平成27年(2015)	第6回菊池ビエンナーレ展出品作	無所属
12	辻聡彦	佐賀県	「波立つ」	平成14年(2002)	第99回九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日展
13	寺崎康子	佐賀県	風の銀河	平成28年(2016)	第55回現代工芸九州会展出品作	日展
14	宮尾正隆	佐賀県	波紋	平成28年(2016)		日展

15	前田泰昭	佐賀県	曙光	平成 26 年 (2014)	第 36 回日本新工芸展出品作	日展
16	浦郷好文	佐賀県	夏の記憶Ⅱ	平成 25 年 (2013)	第 45 回日展出品作	日展
17	馬場九洲夫	佐賀県	雲海・16	平成 28 年 (2016)	2016 年改組新第 3 回日展	日展
18	荒木幹二郎	鹿児島県	苗代川葉文皿	平成 22 年 (2010)	第 45 回記念西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
19	貞松善次	佐賀県	晨明	平成 23 年 (2011)	第 43 回日展入選作	日展
20	松尾博之	佐賀県	氷雪の華	平成 27 年 (2015)	第 55 回日本現代工芸美術展出品作	日展
21	小川善光	佐賀県	みなも	平成 30 年 (2018)	第 31 回現代工芸九州会展出品作	日展
22	中村慎	佐賀県	流風	平成 22 年 (2010)	第 42 回日展出品作	日展
23	今村博	佐賀県	双流	平成 27 年 (2015)	第 30 回日展出品作	日展
24	嶋田敏生	佐賀県	風紋	昭和 59 年 (1984)	第 81 回九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	無所属
25	藤井剛	佐賀県	氷山	平成 11 年 (1999)	第 30 回日展出品作	日展
26	石橋國男	佐賀県	うねり	平成 4 年 (1992)	第 89 回九州山口陶磁展第 1 部 第 1 位文部大臣奨励賞	日展
27	田中忍	佐賀県	始夏	平成 8 年 (1996)	第 46 回 佐賀県美術展 文部大臣奨励賞 館蔵	日展
28	中島康夫	佐賀県	2004-3Ⅱ	平成 16 年 (2004)	第 101 回九州山口陶磁展 第 1 部第 1 位文部科学大臣奨励賞	日展
29	福島清海	佐賀県	象嵌焼締壺	平成 2 年 (1989)	第 12 回日本新工芸展出品作	日展
30	大宅利秋	佐賀県	流盛	平成 28 年 (2016)	第 113 回有田国際陶磁展出品作	日展
31	照井一玄	佐賀県	月沙天目叩き壺 ブラック	平成 26 年 (2014)		日展
32	白武初芳	佐賀県	初夏の草原	平成 28 年 (2016)	第 38 回日本新工芸展出品作	日展
33	厚東孝治	鹿児島県	弥生一鳥紋壁	平成 28 年 (2016)	改組第 3 回日展出品作	日展
34	高田さとし	鹿児島県	道	平成 28 年 (2016)	第 55 回日本現代工芸美術展 出品作	日展
35	有山長佑	鹿児島県	碧雲	平成 29 年 (2017)	第 72 回南日本美術展委託作品	日展
36	有山禮石	鹿児島県	春	平成 27 年 (2015)	第 43 回鹿児島陶芸展招待作品	日展
37	尾前喜八郎	鹿児島県	彩色銀彩壺	平成 29 年 (2017)	第 72 回南日美展出品作	日本工芸会
38	竹之内彬裕	鹿児島県	抜絵柘榴文蓋物	平成 28 年 (2016)	第 51 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
39	永吉一	鹿児島県	幾何文鉢	平成 29 年 (2017)	第 72 回南日本美術展出品作	日本工芸会
40	福吉浩一	熊本県	炭化線象嵌花器 「連山」	平成 26 年 (2014)	第 49 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
41	犬童又郎	熊本県	天目線文壺	平成 20 年 (2008)		日本工芸会
42	久保田烈工	熊本県	青白磁流線文壺	平成 28 年 (2016)	第 63 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
43	井上泰秋	熊本県	ワラ白掛け合い流し大皿	平成 28 年 (2016)	第 34 回田部美術館大賞受賞作	民陶
44	江口秀山	長崎県	黄三彩壺	平成 12 年 (2000)		日本工芸会
45	立井清人	長崎県	埋め込み大鉢	平成 18 年 (2006)	第 104 回九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
46	長野恵之輔	長崎県	線彫深鉢「海の中へ海の中へ行 ってみたいと思いませんか」	平成 26 年 (2014)		日本工芸会
47	山口春利	長崎県	白磁掛分扁壺	平成 20 年 (2012)	第 55 回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
48	小笠原長春	佐賀県	青磁面取壺	平成 7 年 (1995)		日本工芸会

49	江口勝美	佐賀県	和紙染剥抜更紗軸管	平成9年(1997)	館蔵	日本工芸会
50	14代 中里太郎右衛門	佐賀県	叩き唐津墨雲壺	平成29年(2017)		日本工芸会
51	松尾重利	佐賀県	波紋	平成29年(2017)		日展
52	太田秀隆	福岡県	組鉢	平成30年(2018)		日本工芸会
53	高鶴元	福岡県	蓋物	平成30年(2018)		無所属
54	大村就康	福岡県	泥彩花器	平成28年(2016)		日本工芸会
55	甲斐一	福岡県	鉄釉窯変組鉢	平成28年(2016)	第51回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
56	添田和信	福岡県	刷毛目海波文壺	平成27年(2015)	第62回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
57	井上俊一	福岡県	萌木の鉢	昭和57年(1982)	第31回佐賀県美術県展覧会 工芸部門佐賀県知事賞	無所属
58	松尾潤	佐賀県	塩釉光彩壺	平成29年(2017)		日本工芸会
59	丸田延親	佐賀県	辰砂流し掛け陶鉢	平成29年(2017)		日展
60	熊本義泰	佐賀県	青磁麦文方形鉢	平成26年(2014)	第61回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
61	百田暁生	佐賀県	青白磁器	平成28年(2016)		日本工芸会
62	江口康成	佐賀県	呉須幾何文三角花器	平成18年(2006)		日本工芸会
63	山口文彦	佐賀県	青白磁線文花生	平成27年(2015)	第62回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
64	庄村健	佐賀県	藍染花器	平成8年(1996)	第93回九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞	日本工芸会
65	中村清吾	佐賀県	白磁鉢	平成25年(2013)	第110回九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
66	西山宗元	長崎県	絞り釉銀彩更紗文鉢	平成25年(2013)	第60回日本伝統工芸展入選作	日本工芸会
67	川崎精一	佐賀県	カサブランカ陰刻鉢	平成25年(2013)	県展入選作	日本工芸会
68	奥川俊右衛門	佐賀県	白磁面取り八角花瓶	平成28年(2016)		日本工芸会
69	岡本作礼	佐賀県	唐津釣窯酒会壺揃盃	平成30年(2018)		無所属
70	藤ノ木土平	佐賀県	太陽シリーズ 太陽と天女 陶板	平成29年(2017)		無所属
71	中村ゑ美こ	佐賀県	和紙染鉢	平成30年(2018)		日本工芸会
72	庄村久喜	佐賀県	白妙彩磁壺	平成30年(2018)		日本工芸会
73	中尾純	佐賀県	白磁面取線彫花器	平成28年(2016)		日本工芸会
74	中尾龍純	佐賀県	染付二色彩七宝文様壺	平成30年(2018)		日本工芸会
75	中尾英純	佐賀県	和紙染菱文花生	平成22年(2010)		日本工芸会
76	熊谷無造	福岡県	上野掛分三足水指	平成20年(2008)		日本工芸会
77	熊谷保興	福岡県	上野たたき耳付水指			日本工芸会
78	太田孝宏	福岡県	白土流釉茶壺	平成15年(2003)		民陶
79	高木清次	長崎県	透貝香炉	平成15年(2003)		日展
80	山口幹彦	佐賀県	紅染飛翔文水指	平成22年(2010)		日本工芸会
81	徳澤守俊	福岡県	朝鮮唐津水指	平成28年(2016)		日本工芸会
82	溝上藻風	佐賀県	唐津石はげ茶盤	平成29年(2017)		日展

83	亀井 楽山	福岡県	高取丸壺茶入	平成 25 年 (2013)		日本工芸会
84	高鶴 淳一	福岡県	茶碗	平成 28 年 (2016)	慶州 (朝鮮) の土による作品	日本工芸会
85	13 代 高取八山	福岡県	高取菱口水指	平成 27 年 (2015)		無所属
86	大橋 裕	佐賀県	朝鮮唐津花入	平成 27 年 (2015)		無所属
87	石原 祥嗣	福岡県	黒地金彩直弧文陶箱	平成 21 年 (2009)	第 106 回九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵	日本工芸会
88	15 代 酒井田柿右衛門	佐賀県	濁手紅葉文蓋物	平成 28 年 (2016)		日本工芸会
89	梶原 茂正	佐賀県	紺青輪花深鉢	平成 28 年 (2016)	第 99 回佐賀美術協会展出品作	日本工芸会
90	野中 拓	佐賀県	天目桜紋壺	平成 29 年 (2017)		日本工芸会
91	宮崎 祐輔	佐賀県	色絵羊歯文陶管	平成 28 年 (2016)	第 51 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
92	勝田 文博	佐賀県	和紙染柳文花器	平成 27 年 (2015)		日本工芸会
93	坂本 義弘	佐賀県	布染葉文花器	平成 20 年 (2008)	佐賀県陶芸協会展出品作 館蔵	日本工芸会
94	河口 純一	佐賀県	釉裏彩松葉文花器	平成 9 年 (1997)	第 80 回記念 佐賀美術協会展 美術協会賞	日本工芸会
95	中尾 恭純	佐賀県	四方襷文彩色象嵌面取花生	平成 20 年 (2008)	第 105 回九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
96	西山 正	佐賀県	青白磁千段深鉢	平成 7 年 (1995)	第 92 回九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵	日本工芸会
97	井上 康徳	佐賀県	白磁線刻文花器	平成 25 年 (2013)	西日本陶芸展入選作	日本工芸会
98	松尾 勝也	佐賀県	艶釉彩深壺「創」	平成 29 年 (2017)	第 52 回西部伝統工芸展出品作	日本工芸会
99	高森 誠司	佐賀県	青白磁釉彩文鉢	平成 28 年 (2016)	第 63 回日本伝統工芸展出品作	日本工芸会
100	矢鋪 與左衛門	佐賀県	白磁扁壺	平成 28 年 (2016)		日本工芸会
101	松本 浩	佐賀県	彫文水指し	平成 31 年 (2019)		日本工芸会



38 「抜絵柘榴文蓋物」
竹之内彬裕
2016 年 鹿児島県
第 51 回西部伝統工芸展出品作



50 「叩き唐津墨雲壺」
14 代 中里太郎右衛門
2017 年 佐賀県

2. 企画展・テーマ展など

(1) 第115回有田国際陶磁展（美術工芸品・オブジェの部）

趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に日本全国の陶磁器製品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り、伝統工芸の継承と産業の発展を期して、この陶磁展を開催します。

<開催要項より>

審 査 評

第115回有田国際陶磁展美術工芸品・オブジェの部は、総応募数127点、前回とほぼ同数の作品が集まり、内容も多岐にわたるものであった。受賞作だけを見ても、磁器・陶器、うつわからオブジェ、組み物など多岐にわたっている。会派を超えて多様な作風が一堂に集まることで、作り手のみならず鑑賞者にとっても”陶芸の現在”を知る良い機会となるであろう。

最高賞の文部科学大臣賞を受賞した石原祥嗣さんの《彩陶扁壺》は、審査会場に入るなり、会場の片隅からも強く存在感を示していた作品である。卵型の扁壺の下部をやや削ぐことで上部の張りを強調した力強いフォルム、直弧文に由来する大胆な幾何学文様、上絵でありながら艶を抑えた質感など、造形要素のすべてが融合し、プリミティブかつ普遍性を感じさせる逞しい表現となっている。作者は74歳。陶芸の道においては、一般的な高齢がマイナスにならないことを確信させる優品である。

佐賀県知事賞を受賞した木野智史さんの《凧》は清新な青白磁の美しさを活かし、吹く風を想わせる軽やかな造形を実現している。正面性が強い作品だが、帯状の面の縁を、手前は薄く鋭く、反対側は幅を持たせて形態に抑揚と陰影を与えている。

有田町長賞を受賞したレオナルド・バルトリーニさんの《SILENTE》はタイトルによれば静けさの意。膨らみを持たせたタタラの面をエッジで立ち上げることで、時間の流れを静かな律動的フォルムで表現している。色調のテラコッタ色も、いかにもイタリアらしい。

今回は日展の大樋年雄氏、伝統工芸の鈴木徹氏とともに審査にあたったが、議論の中で三者の意見は概ね一致しながらの審査であった。どのような方向性であれば、良い作品は良い、という芸術の根本を確認する審査であった。

<審査長 外館 和子氏 審査評より抜粋>

会 期 平成30年4月29日～5月6日（8日間）
会 場 第1・第2展示室
主 催 佐賀県・有田町・有田商工会議所
出品概要 入選90点（うち入賞15点）
招待出品 4点（第1部）
目 録 A4版28ページ カラー図版 43点
入 館 者 5340人 1日平均668人
審 査 員 （第1部）

外 館 和 子 多摩美術大学教授
大 樋 年 雄 日展特別会員 現代工芸美術家常務理事
鈴 木 徹 日本工芸会理事



「陶彩扁壺」

石原祥嗣

第一席 文部科学大臣賞

美術工芸品・オブジェの部 〈出品概要〉

県名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山口県	7	7	5	1
福岡県	17	19	9	1
佐賀県	49	56	42	8
長崎県	9	9	8	0
熊本県	2	2	2	1
大分県	1	1	1	0
宮崎県	1	1	1	0
鹿児島県	1	1	1	0
沖縄県	0	0	0	0
他国内	26	29	19	3
海外	2	2	2	1
計	115	127	90	15



表彰式の様子



展示風景

<有田国際陶磁展 入賞者名簿>

賞	入賞作品名	氏名	住所
文部科学大臣賞	陶彩扁壺	石原 祥嗣	福岡県宮若市
2位・佐賀県知事賞	甗	木野 智史	京都府宇治市
3位・有田町長賞	SILENTE	レオナルド・バルトリーニ	熊本県熊本市
佐賀県陶芸協会賞	Rin	畑石 修嗣	佐賀県伊万里市
朝日新聞社賞	立	小牧 昭夫	三重県名張市
熊本放送賞	Structural vessel	馬場 康貴	岐阜県土岐市
佐賀県商工会議所連合会賞	染錦花暦図陶管	吉富 文代	佐賀県伊万里市
佐賀新聞社賞	彩色線文広口花器	小川 洋一	佐賀県佐賀市
サガテレビ賞	『湧水』	植木 薫	佐賀県多久市
陶業時報社賞	和紙染格子文面取壺	中尾 英純	佐賀県西松浦郡有田町
西日本新聞社賞	玄	副島 信幸	佐賀県嬉野市
日刊工業新聞社賞	萩御本手窯変壺	西林 美奈子	山口県山口市
日本経済新聞社賞	氷青磁鉢	青木 昌勝	佐賀県伊万里市
読売新聞社賞	青磁黒彩鉢	大串 匡秀	佐賀県伊万里市
陶都有田国際交流協会賞	幸福のざくろ家族	呂 金	中華人民共和国

<招待作品> (審査員・重要無形文化財)

作 品 名	出 品 者 名	住 所
神之器「尊崇」	大樋 年雄 (審査員)	石川県市金沢市
緑釉花器	鈴木 徹 (審査員)	岐阜県多治見市
白磁黄緑釉彫文皿	井上 萬二 (重要無形文化財「白磁」保持者)	佐賀県有田町
色絵墨色墨はじき利休梅文鉢	今泉 今右衛門 (重要無形文化財「色絵磁器」保持者)	佐賀県有田町

(2) 第 27 回 陶千坊展

趣 旨

陶千坊展は、佐賀県立有田窯業大学校の絵付研修修了生よる展覧会として始まりました。現在は、「子供のように純真・純粋な心で焼き物を制作する仲間として集い、自由でかつ達な運営により相乗的な技術向上と発展を目指す」ことを趣旨として開催される陶芸展です。

第 27 回となる今回は、20 名の陶芸家が自慢の新作を披露されます。

<広報用資料より>

会 期 平成 30 年 6 月 5 日～6 月 10 日 (6 日間)
 会 場 第 1 展示室
 主 催 陶千坊
 後 援 佐賀県立九州陶磁文化館
 展示内容 陶芸作品全般 (オブジェ、器、陶人形等)
 394 点を展示
 入 館 者 752 人 1 日平均 125 人



展示風景

(3) 第 39 回九州新工芸展

趣 旨

九州新工芸家連盟は工芸の本質を問い、現代に望まれ、未来を明示できる生活造形を確立することを目標としています。生活のなかに求められるもの、生活を豊かにするための造形美を追求し、多様化する造形指向の中にある工芸の位置づけを明確にしたいと考えています。工芸活動は、陶芸、金工、漆芸、染色をはじめ、木竹、皮革、硝子、七宝、人形、紙工芸など、多岐にわたり生活との接点が非常に多いものです。各作家の各分野で素材を生かした造形作品の出品を期待します。

<開催要項より>

梅雨の合間の爽やかな日に外部審査員の佐賀県立九州陶磁文化館・家田様と NHK 佐賀放送局・中澤様をお迎えして、穏やかな中にも緊張感のある厳正な審査が行われた。

大賞の「悠久」はフォルムと釉の調子が洗練された作品で細部に心配りが見られる作品に仕上がっている。宮崎県知事賞の「緑鱗」は若い作家が興味を持った対象を自分なりの色面表現に置き換え、考えられた構成を見せている。

竹工芸や染色の分野で今後期待できる若い作家の新鮮な風を感じ取ることができた。

(九州新工芸家連盟 会長 生野徳三氏 審査概評より)

会 期 平成 30 年 6 月 20 日～7 月 1 日 (11 日間)
 会 場 佐賀県立九州陶磁文化館
 主 催 九州新工芸家連盟
 後 援 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県
 宮崎県・鹿児島県・佐賀県立九州陶磁文化館
 読売新聞西部本社・NHK 佐賀放送局・
 佐賀新聞社・サガテレビ

展示内容 39点 (磁器5点・陶器6点・染色16点・竹工8点・人形4点)
出品目録 A4版4ページ
入館者 1,299人 1日平均 118人

審査員 家田 淳一 佐賀県立九州陶磁文化館シニア・アドバイザー・フェロー
 中澤 淳人 NHK佐賀放送局放送部長
 小川 泰彦 日本新工芸家連盟顧問
 前田 泰昭 日本新工芸家連盟顧問
 生野 徳三 日本新工芸家連盟審議委員
 田中 嘉生 日本新工芸家連盟理事
 白武 初芳 日本新工芸家連盟会員
 足立 和子 日本新工芸家連盟会員



「悠久」
 白武初芳
 平成30年度 大賞

九州新工芸 平成30年度 受賞者リスト				
賞	入賞作品名	分野	受賞者氏名	住所
大賞	悠久	陶器	白武 初芳	佐賀市
福岡県知事賞	獅子舞	染色	徳永 武洋	朝倉市
佐賀県知事賞	水天の煌き	染色	池田 大地	佐賀市
長崎県知事賞	残照	陶器	吉澤 秀幸	大村市
大分県知事賞	夜の旅立ち	染色	荒木 久仁子	天草市
熊本県知事賞	祝蕾	竹工	長谷川 絢	竹田市
宮崎県知事賞	緑鱗	染色	飯田 萌夏	佐賀市
鹿児島県知事賞	風に舞う	竹工	山口 明	大分市
佐賀県立九州陶磁文化館長賞	躍動	陶器	内田 義信	佐世保市
城秀男賞	時の隙間	染色	鳥谷 さやか	福岡市
読売新聞西部本社賞	水面にゆれて	染色	吉村 希代子	福岡市
佐賀新聞社賞	白い夏—b	磁器	田中 忍	嬉野市
NHK佐賀放送局賞	Ending	染色	増本 瑤子	佐賀市
サガテレビ賞	白の森	陶器	井上 康	福岡市
奨励賞	美しさの感動をデザイン	染色	山下 常子	小城市
奨励賞	菱彩壺「綾」	陶器	松尾 喬	佐世保市



展示風景

(4) 第31回 現代工芸美術九州会展

同時開催 青木龍山 没後10年展

趣 旨

私達現代工芸美術家協会九州会が主催する現代工芸美術九州会展は今年、31回展を迎える事が出来ました。これも偏に皆様方の日頃のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

九州会発足以来、諸先輩・先生方のご指導を仰ぎながら会員一同、一丸となって九州の工芸作家の資質の向上と地方文化の発展に貢献できたと思っております。これからも一層、努力・研鑽していきたいと思っておりますので、皆様ご観覧の上ご批評賜りますようお願い申し上げます。

今年には九州会創始者の一人で、文化勲章受章者の青木龍山先生が平成20年に逝去されて10年に成ることから、「没後10年展」を企画致しました。あわせてご観覧いただければ幸いに存じます。

<広報用資料より>

会 期 平成30年7月22日～7月29日（7日間）
 会 場 第1展示室
 主 催 現代工芸美術家協会九州会
 後 援 佐賀県、福岡県、長崎県、大分県、宮崎県、熊本県、
 鹿児島県、沖縄県、有田町、佐賀県立九州陶磁文化館
 展示内容 48点（陶磁・染織・人形・七宝・紙・ガラス・竹）
 出品目録 B4版4ページ
 入館者 933人 1日平均133人



「海風に問ふ—2018・07」

久保 淑子

青木龍山賞

第31回記念 現代工芸美術九州会展 受賞者リスト			
賞	作品名	氏名	住所
青木龍山賞	海風に問ふ—2018・07	久保 淑子	鹿児島県
現代工芸美術家協会九州会会長賞	流双	今村 博	佐賀県
佐賀県知事賞	夢の轍	寺崎 康子	佐賀県
福岡県知事賞	卑弥呼の島	今林 久	福岡県
鹿児島県知事賞	蕊	松尾 緑	鹿児島県
長崎県知事賞	ムツゴロウ	中川 由紀子	熊本県
熊本県知事賞	狐愁	藤田 晃一	福岡県
宮崎県知事賞	潮	黒木 房子	宮崎県
大分県知事賞	DREAM LAND	植山 佳子	大分県
沖縄県知事賞	蒼天	大畑 桃子	宮崎県
佐賀県立九州陶磁文化館賞	波濤	北村 昇子	福岡県
有田町長賞	萤火	下平 隆義	佐賀県
奨励賞	nornir～運命を司る女神たち～	田中 直美	福岡県
奨励賞	遙か	今橋 玲子	福岡県
奨励賞	流彗	嘉村 裕一	福岡県

(5) 明治維新 150 年記念展 幕末明治 有田の豪商—蔵春亭と肥磒山信甫—

趣 旨

有田焼は 1610 年代頃に日本で初めて生産された磁器です。世界市場のほとんどを占めていた中国磁器が中国国内の内乱により 1640 年代から 1680 年代まで輸出を中断すると、その代替として世界に輸出されました。その後、中国磁器の輸出再開や欧州磁器の生産開始により世界市場での有田焼の需要が減り、海外輸出は一時中断しました。

しかし、有田焼は再び世界を目指します。幕末の天保 12 年(1841)、有田の商人久富与次兵衛はオランダ向けの貿易を開始し、さらに佐賀藩から有田焼独占輸出の権利を得ると、「蔵春亭」ブランドで欧米好みの製品開発を行い、長崎に支店を構え海外輸出に乗り出します。

安政 3 年(1856)からは、田代紋左衛門がその権利を継承し、西洋陶技を導入して洋食器や碓子などを生産し、「肥磒山信甫」ブランドで多様な新しい有田焼を生み出していきます。

これらの「蔵春亭」・「肥磒山信甫」両ブランドは、江戸時代には無い新たな有田焼も創造し、産業革命を経て競争の激化した世界の磁器市場において、再び有田焼を世界ブランドに育てました。

今回の展覧会では、海外に輸出された作品、生産地・有田の窯跡や久富の支店が置かれた長崎市万才町遺跡の出土品、地元である有田に伝わった作品や「田代家文書」などの資料を通じて、今日に続く有田焼ブランドの礎をご紹介します。

<開催要項より>

会 期	平成 30 年 8 月 3 日～9 月 2 日 (26 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	62 件 121 点
パンフレット	A4 判カラー 22 ページ (展覧会小冊子) 会場で無料配布
入 館 者	3,430 人 1 日平均 127 人
観 覧 料	無料
展示構成	



展示ホール

- 第 1 章 新しい有田焼の幕開け —有田の商人による輸出再開と「蔵春亭」ブランド—
 - 1 デザインの開拓 —文様と形の和洋折衷—
 - 2 委託生産とブランド戦略 —「蔵春亭」銘と生産地
 - 3 海外輸出の窓口 —長崎・万才町遺跡出土品—
- 第 2 章 輸出の拡大と新たな商品開発 —「肥磒山信甫」ブランドの展開—
 - 1 デザインの近代化 —洋食器の開発と西洋陶技の導入—
 - 2 商品開発の発展 —オリジナル商品と産地間コラボレーション
 - 3 「田代家文書」にみる有田焼の近代化
 - 商品開発の舞台裏を読み解く—



展示風景

関連イベント

開会セレモニー 平成 30 年 8 月 3 日 (金曜日) 午前 10 時 ※久富家と田代家の御子孫によるテープカット

- (1) 有田町明治維新 150 年事業 [明治有田偉人博覧会]
 - 「久富蔵春亭と肥磒山信甫を末裔が語る」
 - 主催：有田町明治維新 150 年事業実行委員会
 - 日時：平成 30 年 8 月 4 日 (土曜日) 午後 2 時から
 - 会場：九州陶磁文化館 講堂
 - 出演者：久富桃太郎氏
 - 田代正敏氏
 - 有田町歴史民俗資料館 尾崎葉子館長
 - 九州陶磁文化館 鈴田由紀夫館長



「久富蔵春亭と肥磒山信甫を末裔が語る」

(2) ギャラリートーク (参加無料 申込み不要)

毎週土曜日の午後2時から1時間程度、学芸員が見どころを解説

イベントのため8月4日(土曜日)のギャラリートークは開催せず



色絵花鳥文大皿

1840～1860年代 肥前・有田 久富
有田陶磁美術館所蔵



色絵牡丹文双耳付花瓶

安政二年(1855) 肥前・有田 久富
曹洞宗城雲院所蔵



色絵果実文洋食器セット

1870～1880年代 肥前・有田 田代
九州陶磁文化館所蔵
有田 田代家寄贈



色絵草花鳳凰文家紋入台付透菱形鉢

1860～1880年代 肥前・有田 田代
九州陶磁文化館所蔵
有田 田代家寄贈

(6) 第17回伊万里・有田焼伝統工芸士展

テーマ 「お茶の器」～一服～

趣 旨

この展示会を通じて伝統工芸品伊万里・有田焼がいかに生活に深く根ざし、興味あふれるものかを、さらには現在の伝統的工芸品産業伊万里・有田焼の姿と活動を県民に親しみやすく、また楽しく表現し、伊万里・有田焼のある暮らしに興味と再認識を呼び起こすとともに、新しい生活文化を広く提案するものです。

<広報資料より>

会 期 平成 30年9月8日～9月17日(9日間)

会 場 第1展示室

主 催 伊万里・有田焼伝統工芸士会

後 援 九州経済産業局、(一財)伝統的工芸品産業振興協会、佐賀県陶磁器工業協同組合、国立大学法人佐賀大学、伊万里市、有田町、佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 会員名による作品点を展示

入 館 者 1,365人 1日平均152人

イベント 9月8日・9日・15日・16日・17日に伝統工芸士による実演 上絵付・下絵付・ろくろの実演、伝統工芸士の作品でお茶のおもてなし



展示風景

(7) 寄贈記念特別企画展

人間国宝 中島宏氏寄贈 古武雄一ふるさと大地の記憶

趣 旨

ここ佐賀・長崎にまたがる肥前地方では、陶工たちが適した土を求め大地を掘り、さまざまな陶磁器を生み出してきました。また、豊かな山林資源の恩恵もあり、主に松の木を燃料として、高い温度で強固な陶磁器を焼成することが可能でした。現在でも草木の灰は陶磁器を覆う釉薬に利用されるなど、天然資源をもって、あじわいのある多彩な陶磁器の世界が展開しています。

青磁の重要無形文化財保持者（人間国宝）であった故 中島宏氏は、自分自身の作陶に精進するとともに、肥前地域の陶磁器の研究と収集を行われました。とりわけ、生まれ育った武雄市弓野地区をはじめ、武雄地域の陶器収集には、ひとかたならぬ熱意と愛情をもってとりくまれ、その収集品を、古い武雄焼：「古武雄」^{こだけお}として、図録の刊行や展覧会で発表されてきました。

このたび、中島宏氏から、多くの古武雄が佐賀県立九州陶磁文化館に寄贈されたことを記念し、郷土の土と炎が生み出した力強い造形の世界を堪能いただくため、その収集品の中から選りすぐりの逸品を展示します。

<開催要項より>

会 期	平成30年10月6日～11月25日（45日間）
会 場	第1・第2・第3展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
後 援	朝日新聞社、佐賀新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、サガテレビ、NHK佐賀放送局、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀
観 覧 料	大人 600円（20名以上500円） 大学生 300円（20名以上200円） ※高校生以下及び障害者手帳等お持ちの方とその介護者の方は無料 （幕末維新記念館、リアル弘道館、葉隠みらい館の3館のチケット半券・フリーパス提示で団体料金適用）
入 館 者	9,852人 1日平均219人 （うち特別企画展観覧者5,125人 1日平均114人 ※10/5開会式126名は除く）
出品件数	207件207点（うち佐賀県重要文化財1点）
展示構成	プロローグ 中島宏氏と古武雄コレクション 第一章「躍動」－迫力ある大皿の名品たち 第二章「大地を描く」－松絵の甕など、鉄絵と緑彩による雄渾な装飾 第三章「白妙」 ^{しろたえ} －刷毛や筆を用いた白い文様の世界 第四章「律動と飛翔」 ^{りつどう} －印判を表面に押しあらかわされる象嵌文様 第五章「彩」 ^{いろどり} －緑と褐色の 釉 ^{うわぐすり} が織り成す佳麗

関連イベント ※表記のないものは佐賀県立九州陶磁文化館主催

開 会 式 10月5日(金曜日)午後3時から ※終了後に内覧会を行った

(1) 表千家教授会による呈茶

日時：10月7日(日曜日)

12時45分～14時

会場：佐賀県立九州陶磁文化館 研修室

呈茶代：無料

主催：表千家教授会

(2) 開催記念講演会「中島宏氏寄贈 古武雄 一ふるさと大地の記憶」

日時：10月13日(土曜日)

[開場]13時 [開演]13時30分 [終了予定]15時

会場：佐賀県立九州陶磁文化館 講堂

講師：東中川忠美氏(元佐賀県立名護屋城博物館長)

参加費：無料

(3) 記念コンサート「マリンバ アンサンブルコンサート」

日時：10月20日(土曜日)

[開場]13時 [開演]13時30分

会場：佐賀県立九州陶磁文化館 講堂

演奏：香椎愛子(プロマリンバ奏者) 他

参加費：無料

(4) 国際学芸員サミット2018 世界の学芸員が語る 有田焼 佐賀の魅力

日時：10月27日(土曜日)

[開場]13時30分 [開演]14時 [終了予定]16時30分

会場：佐賀県立九州陶磁文化館 講堂参加費：無料

主催：佐賀県文化課

(5) ギャラリートーク館長デー

日時：11月3日(土曜日・祝日) 14時から1時間程度

(6) オカリナ演奏会・体験会

日時：11月10日(土曜日)

[第1部]10時30分から [第2部]14時から

定員：各部20名1時間程度開催

会場：佐賀県立九州陶磁文化館 エントランスホール

参加費：500円

演奏：山の音楽家シャナ

(7) 学芸員によるギャラリートーク

日時：10月6日(土曜日)、10月14日(日曜日)、10月21日(日曜日)、10月28日(日曜日)、
11月11日(日曜日)、11月17日(土曜日)、11月24日(土曜日) 14時から1時間程度



展示ホール



開会式の様子



館長によるギャラリートーク



展示風景

(8) 明治維新 150 年記念展 有田晩香窯—明治から平成の窯元の軌跡—

趣 旨

明治に創業し、現代まで続く有田焼の窯元 ぼんこうがましろうけん 晩香窯庄健。明治17年(1884年)に上絵付を専業とする赤絵屋として始まり、製品には、初代である庄村健吉の俳号「晩香」の銘が使われました。そして大正15年(1926年)には「鍋島窯」という名前で窯を開き、成形から絵付・焼成まで一貫した製品作りを行う窯元へと変わっていきます。その後、昭和初期の恐慌や第二次世界大戦、戦後の復興期、そして平成の時代へと、時代の変化に対応しながら代を重ね現在に至ります。

赤絵屋時代の製品から窯元時代の多様な製品、現代の陶芸作品まで、晩香窯庄健の豊富な資料によって、明治から平成までの有田焼の歴史を振り返ります。

<開催要項より>

会 期	平成 30 年 12 月 15 日～平成 30 年 1 月 14 日(26 日間)
会 場	佐賀県立九州陶磁文化館 第 1 展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
観 覧 料	無料
入 館 者	2,845 人 1 日平均 109 人
パンフレット	A 4 判カラー14 ページ (展示内容と作品写真を掲載) (展覧会小冊子) 会場で無料配布
出品件数	92 件 115 点
展示構成	

- 第 1 章 (1) 明治の晩香 初代の作品を中心に紹介
(2) 初代・庄村健吉(晩香)の交流関係 資料から見える交流関係を紹介
- 第 2 章 (1) 幻の鍋島窯時代 大正末から昭和初期の鍋島窯銘の作品を紹介
(2) 大正から昭和前期 2代から3代の作品を中心に紹介
- 第 3 章 戦中戦後の晩香窯 統制時代から戦後の作品を紹介
- 第 4 章 現代の晩香窯 現在活躍中の5代と6代の作品を紹介

関連イベント

開会セレモニー

日時：平成30年12月15日（土曜日）午前10時

※庄村健氏（晩香窯庄健5代目）ほか関係者によるテープカット
ギャラリートーク（参加無料 申込み不要）

平成29年12月16日・23日、平成30年1月6日・13日（土曜日） 午後2時から1時間程度学芸員による展示解説



色絵岩梅牡丹孔雀文大皿
大正初期 庄村健吉
晩香窯庄健所蔵



色絵天女文大皿
明治～大正
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵



学芸員によるギャラリートーク



展示風景

(9) 第50回 有田工業高等学校卒業制作展

趣 旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

このたび開催予定の卒業制作展で発表する作品は、卒業学年の「課題研究」で取り組んだものを中心に、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。

この作品展は50年前にデザイン科のみでスタートしましたが、平成元年よりセラミック科が加わり年ごとに充実し、西暦2000年には創立100周年を機に本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催することになりました。

今後も「ものづくり」の有田工業高校の更なる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

〈開催要項より〉

会 期 平成31年1月22日～1月27日（6日間）
会 場 第1展示室および展示ホール
エントランスホール・一般研修室
主 催 佐賀県立有田工業高等学校

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 生徒数 213 人（全日制：193 人 定時制：11 人 聴講生：9 人）による約 500 点展示

展示内容

- 【セラミック科】 ろくろ成形の研究・手びねり、板作り成形の研究・鋳込み成形の研究・陶磁器加飾法の研究・人ロルビーの合成・ファインセラミックスの研究・蓄光の研究 ほか
- 【デザイン科】 「Re・再び・もとへ・新たに」を共通のデザインテーマとした、地域の商品・製品企画の提案、及び授業作品（商品企画・製品試作・ブランディング・イベント企画運営・地域活性化プラン ほか）
- 【電 気 科】 木工工作・イオンクラフトの製作・おもしろ電子工作・ロボット教材の製作・Arduino を使った作品の製作・自動車照明装置の製作
- 【機 械 科】 カヌーの制作・溶接大会への取り組み及びNC旋盤によるものづくり・ものづくりによる地域貢献・ロボット制作・アイデアロボットの制作・屋台型自転車の制作・ロボットモデルを作ろう・駐車場の階段の制作（校内環境を整える）・立体製図及び3Dプリンターによるものづくり・学校備品の修理及び体験型ゲームの制作・レゴマインドストームによるプログラミング制御及びグランドフェンスの制作・校内備品の改善
- 【定 時 制】 定時制（セラミックコース、デザインコース）の生徒作品・聴講生作品

課題研究発表会

【デザイン科】 1月25日 9:00~15:00

【セラミック科】 1月26日 9:00~13:00

対象：全校生・一般

場所：九州陶磁文化館講堂

入 館 者 2,332 人 1日平均 372 人



展示風景

(10) 第 37 回 西松浦郡小・中学校学童美術展

趣 旨

本美術展を通して、子どもたちの造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造の喜びを味あわせ、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。保護者および、地域住民の皆様に、子どもたちの学習の成果を公開し、幅広く学校教育および造形教育への理解と協力を願う。地域の特性を生かした作品を展示することにより、子どもたちの地域社会への興味を喚起し、伝統文化を継承し、発展させようとする高い志を育む。

<開催要項より>

会 期 平成 31 年 1 月 29 日～2 月 3 日 (6 日間)

会 場 第 1 展示室

主 催 佐賀県造形教育研究会西松浦支部

共 催 有田町教育委員会

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 日々の授業の中から生まれた、子どもたちの図工・美術作品全般。「絵画」「デザイン」「線描」「立体」の 4 部門からなる。立体部門は、地域の特色から、焼き物の作品中心となっている。展示作品は、郡や県の審査会で、特に優秀と認められた平面作品 53 点と立体作品 215 点で有田町内の小学校 4 校、中学校 2 校から出品された児童、生徒の作品の中から選抜されている。

作 品 数 平面作品 (県特選、県準特選) 53 点

立体作品 (県特選、県準特選、郡特選) 215 点

計 268 点

入 館 者 1,561 人 1 日平均 260 人



展示風景

(11) 第 3 回 九陶陶芸教室 OB 有志展

趣 旨

日ごろ九州陶磁文化館において作陶に励んでいる当館主催の陶芸教室卒業生有志による作品展を開きます。陶芸教室で得た知識と体験をもとに自己研さんに努めて参りました。アマチュアで未熟ではありますが多くの方々に造る喜び、楽しさ、陶芸の奥深さなどを少しでも伝えることができればと開催するものです。

<開催要項より>

会 期 平成 31 年 2 月 5 日～2 月 11 日 (7 日間)

会 場 第 1 展示室

主 催 九陶陶芸教室 OB 有志

後 援 佐賀県立九州陶磁文化館

展示内容 作品約 300 点

茶碗、壺、皿、鉢、花瓶、オブジェなど

入 館 者 954 人 1 日平均 136 人



展示風景

(12) 第 33 回 有田窯業大学校卒業制作展

趣 旨

窯業技術の習得に取り組んだ有田窯業大学校の学生の卒業制作や、佐賀県窯業技術センターの研修生の成果物などを展示します。平成 31 年 3 月で閉校する有田窯業大学校の最後の卒業制作展です。

- ・卒業生 5 名の作品
- ・佐賀県窯業技術センター 窯業人材育成事業研修生の実習成果物

< 広報用資料より >

会 期	平成 31 年 2 月 19 日～2 月 24 日 (6 日間)
会 場	第 1 展示室・展示ホール・茶室
主 催	佐賀県立有田窯業大学校
後 援	有田町、公益財団法人窯業教育振興会、佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	作品 約 120 点 卒業制作品 (窯業大学校 4 年) 実習成果物 (窯業人材育成事業研修生) 食器、オブジェ、有田の伝統技法による飯碗・皿・湯呑など
入 館 者	1,212 人 1 日平均 202 人



展示風景

(13) 第 30 回 九州陶磁器デザイナー協会展

趣 旨

九州陶磁器デザイナー協会は、佐賀・長崎にまたがる肥前窯業圏を中心として、陶磁器デザインに関わる企業デザイナー・教育者・窯業技術センター職員等の親睦と研修の集まりです。その始まりは、昭和 26 年にまでさかのぼりますが、会としての形式は特に整えず、問題意識のある人達が自由に集まって発言の場をする場所として永く続いてまいりました。陶磁器を通して地域の中に根付き、戦後デザインの運動の九州での母体ともなってきました。このたび

第 30 回目の協会展を開き、現在の各会員の作品を紹介するとともに、成果を多くの人に観て頂きたいと思います。

< 開催要項より >

会 期	平成 31 年 2 月 26 日～3 月 3 日 (6 日間)
会 場	第 1 展示室
主 催	九州陶磁器デザイナー協会
後 援	有田町 波佐見町 佐賀県陶磁器工業協同組合 波佐見陶磁器工業協同組合 佐賀県立九州陶磁文化館
展示内容	九州陶磁器デザイナー協会 (通称 DAKT) の会員によるテーマに合わせた陶磁器作品 第 30 回目のテーマは「ティータイム」
作品数	約 300 点
入 館 者	715 人 1 日平均 119 人



展示風景

(14) 第34回 有田陶交会展

趣 旨

窯元は「日々の中で使われる器」を作っている人たちです。日々の暮らしの中で、当たり前のように持ち、口をつけ、使い続けている器。器を実際に手に取り『質感』や『重量』を肌で感じてもらうことによって、窯元への親近感を持っていただけるような企画です。ご自身で作品に『TOUCHI!』してみて窯元の想いを感じとってみてください。

<広報用資料より>

会 期	平成31年3月12日～3月17日（6日間）
会 場	第1展示室
主 催	有田陶交会
後 援	肥前陶磁器商工協同組合、佐賀県陶磁器工業協同組合、佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要	有田陶交會に参加している40窯元のうち13窯元により制作発表される作品と、佐賀大学有田キャンパスの学生の作品
入 館 者	883人 1日平均147人



展示風景

(15) 深川篤 回顧展 テーマーたとえば子供の頃の宝物

趣 旨

深川篤氏は、深川製磁株式会社の造形デザイナーとして33年間勤務し、商品のデザインやアート作品など、幅広く創作活動を行って来られました。しかし平成28年、闘病の末57歳の若さで亡くなりました。

深川篤氏のアートの活動が産地有田に与えた影響は素晴らしいものと考え、今回「深川篤 回顧展」を開催することになりました。

<広報用資料より>

会 期	平成31年3月19日～3月31日（12日間）
会 場	第1展示室
主 催	深川篤回顧展実行委員会
後 援	佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要	陶磁器をメインにデッサン、絵画、イラスト、屏風、彫刻、家具など100点ほど展示
入 館 者	2705人 1日平均225人



展示風景

3.利用状況

◎月毎の入館者数

月	開館日数	入館者数	月	開館日数	入館者数
4月	26	5,219	11月	26	5,876
5月	27	5,285	12月	25	2,863
6月	26	2,773	1月	28	4,976
7月	27	2,668	2月	25	4,155
8月	27	3,289	3月	27	4,639
9月	28	3,527	合計	319	50,474
10月	27	5,204	平均	27	4,206

No.	展 覧 会 名	主催・共催	会 期	日数	入館者数
1	第115回有田国際陶磁展		4/29～5/6	8	5,340
2	第27回陶千坊展		6/5～6/10	6	752
3	第39回九州新工芸展		6/20～7/1	11	1,299
4	第31回現代工芸美術九州会展		7/22～7/29	7	933
5	明治維新150年記念展 幕末明治 有田の豪商展—蔵春亭と肥礫山信甫—	主催	8/3～9/2	27	3,430 (8/4講演会130名は除く)
6	第17回伊万里・有田焼伝統工芸士展		9/8～9/17	9	1,365
7	寄贈記念特別企画展 人間国宝 中島宏氏寄贈 古武雄—ふるさと大地の記憶	主催	10/6～11/25	45	5,125 (10/5開会式126名は除く)
8	明治維新150年記念展 有田晩香窯—明治から平成の窯元の軌跡—	主催	12/15～1/14	26	2,845
9	第50回有田工業高等学校卒業制作展		1/22～1/27	6	2,232
10	第37回西松浦郡小・中学校学童美術展		1/29～2/3	6	1,561
11	第3回九陶陶芸教室OB有志展		2/5～2/11	7	954
12	第33回有田窯業大学卒業制作展		2/19～2/24	6	1,212
13	第30回九州陶磁器デザイナー協会展		2/26～3/3	6	715
14	第34回有田陶交会展		3/12～3/17	6	883
15	深川篤 回顧展		3/19～3/31	12	2,705
	合 計			188	31,351

4. 館蔵資料等の貸出

許可番号	No.	事業・展覧会・目的	貸出期間	貸出先	貸出	
					件数	点数
521	1	首都圏事務所応接室に展示のため	H30.4.1～H31.3.31	佐賀県首都圏事務所	2	2
522	2	来賓室、副知事室に展示のため	H30.4.1～H31.3.31	佐賀県秘書課	2	2
523	3	佐賀県議会議長室に展示のため	H30.4.1～H31.3.31	佐賀県議会事務局	2	2
524	4	佐賀県教育長室に展示のため	H30.4.1～H31.3.31	佐賀県教育庁教育総務課	1	1
525	5	常設展「日本と世界のやきもの」通史部門・日本ゾーン内「古窯陶磁資料展示コーナー」出品のため	H30.4.1～H31.3.31	愛知県陶磁美術館	1	183
526	6	常設展示「日本列島と朝鮮半島との交流史」に展示のため	H30.4.1～H31.3.31	佐賀県立名護屋城博物館	6	6
527	7	ドレスデンプロジェクト ワークショップ 講義資料として使用するため	H30.5.8～H30.6.30	佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問	11	11
528	8	特別展「新・桃山の茶陶」での展示のため	H30.9.27～H30.12.28	公益財団法人 根津美術館	2	2
529	9	青木龍山没後 10 年展に展示のため	H30.7.19～H30.7.30	現代工芸美術家協会九州会	15	15
530	10	特別展「新・桃山の茶陶」での展示のため	H30.9.27～H30.12.28	公益財団法人 根津美術館	1	1
531	11	明治維新 150 周年記念 黎明館企画特別展「華麗なる薩摩焼—万国博覧会の時代のきらめき—」に出陳のため	H30.11.15～H31.3.31	明治維新 150 周年記念黎明館 企画特別展「華麗なる薩摩焼」実行委員会	2	3
532	12	名護屋城博物館「陶芸の技と心—武雄の現代の陶芸家たち 17—」に展示のため	H30.11.23～H31.1.25	佐賀県立名護屋城博物館	3	3
535	13	「中島宏～永遠の青磁～」に展示のため	H31.3.11～H31.5.17	株式会社サガテレビ	4	4
536	14	常設展示「日本列島と朝鮮半島との交流史」に展示のため	H31.3.11～R1.3.31	佐賀県立名護屋城博物館	5	6
平成 30 年度 貸出資料数： 45 件 47 点 陶片：12 件 194 点						

5. 館蔵資料等の閲覧・撮影・画像原稿借用・画像使用等

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 85 件 (536 点)

※この他、施設としての撮影が 9 件 17 点 ありました。

教育普及活動

1. 展示案内

団体案内は予約制だが、要望に応じて随時対応している。

平成30年度 展示案内実施回数

実施回数							人数					
月	学芸 (館長・顧問)	総務	嘱託			計	学芸 (館長・顧問)	総務	嘱託			計
			小計	予約	予約なし				小計	予約	予約なし	
4月	4	0	5	5	0	9	68	0	70	70	0	138
5月	6	0	10	8	2	16	115	0	299	282	17	414
6月	6	0	8	8	0	14	48	0	151	151	0	199
7月	5	0	2	2	0	7	71	0	35	35	0	106
8月	5	0	3	3	0	8	82	0	185	185	0	267
9月	4	0	8	8	0	12	157	0	126	126	0	283
10月	10	0	16	16	0	26	204	0	542	542	0	746
11月	12	0	18	15	3	30	200	0	297	288	9	497
12月	3	0	5	4	1	8	68	0	106	103	3	174
1月	2	0	8	8	0	10	27	0	146	146	0	173
2月	7	0	10	9	1	17	103	0	220	212	8	323
3月	9	0	6	6	0	15	100	0	132	132	0	232
計	73	0	99	92	7	172	1,243	0	2,309	2,272	37	3,552

平成30年度 団体観覧

	展示案内		自由観覧		学校行事観覧		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	1	21	4	126	1	48	6	195
5月	6	189	8	238	3	215	17	642
6月	2	117	6	384	1	67	9	568
7月	2	56	2	53	2	129	6	238
8月	1	167	3	75	1	41	5	283
9月	3	192	6	280	0	0	9	472
10月	11	400	15	522	4	222	30	1,144
11月	7	238	8	367	1	38	16	643
12月	3	84	6	406	1	42	10	532
1月	3	78	2	73	11	751	16	902
2月	6	177	1	27	6	362	13	566
3月	5	139	5	198	0	0	10	337
計	50	1,858	66	2,749	31	1,915	147	6,522

*学校行事観覧(団体)は、案内の有無に関らず記載

2. 地域主催イベントとの関連催事

(1) 第115回「有田国際陶磁展」関連催事等

趣 旨

九州陶磁文化館では、有田陶器市の期間に「九陶バザ〜レン♪」を下記のとおり開催します。
多くの方にご来館いただくため、期間中は有田駅から九州陶磁文化館まで無料シャトル便を運行します。

第115回有田国際陶磁展と併せてお楽しみください。

<広報用資料より>

期 間 平成30年4月29日（日・祝）～5月5日（土・祝）（7日間）

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館エントランス

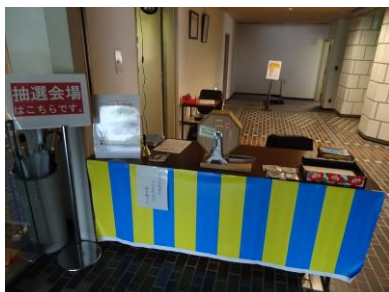
主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 軽食やお菓子、雑貨などさまざまな個性あふれる約7店舗が九州陶磁文化館に出店しました。
有田焼新ブランド2016/、柿右衛門窯、今右衛門窯、源右衛門窯のやきものなど、豪華景品が当たる抽選会を実施。

(抽選会参加者数 2,765 人)



「九陶バザ〜レン♪」の様子



抽選会会場



入口付近の様子

(2) 夏休み子供向けイベント

期 間 平成30年7月21日（土）～8月31日（金）（36日間）

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館エントランス

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

内 容 夏のイベントとして、オリジナル風鈴と粘土のキットの販売と体験を行った。

◆ 折り紙を折ろう！（参加無料）

エントランスの壁に折り紙を貼るパネルを設置して、自由に折り紙を制作。

◆ オリジナル風鈴（1個／500円）

真っ白な風鈴に、色鉛筆やクレヨン、ペンなどを使って絵付けをするオリジナルの風鈴を制作。

◆ 粘土の小物作り（1個／500円）

色つきの樹脂粘土を使って、キーホルダーやマグネットなどの作品を制作。

<館内のお知らせより>



折り紙コーナー



イベントの様子



オリジナル風鈴づくり

(3) ひな祭りのぬり絵展示

趣 旨

来館者に「ひなまつり」を楽しんで頂くとともに、有田町民の皆様に親しみを持って頂くため、期間中、有田町内の保育園・幼稚園に通う年長さんのぬり絵を展示します。園児さんたちの作品をゆっくりご鑑賞ください。

<館内のお知らせより>

期 間 平成31年2月5日(火)～3月10日(日)(31日間)

展示会場 エントランス・展示室前通路

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館



展示風景

3. 陶芸文化講座

趣 旨

九州陶磁文化館では、古陶磁を身近で鑑賞し、やきものに関する知識を深めてもらうため、陶芸文化講座を開催します。やきもの見方を知りたい、歴史に触れてみたいなど、陶芸文化に関心をお持ちの方を対象とした講座です。

テ ー マ 「古伊万里を触って見る」

日 時 平成 31 年 3 月 2 日 (土)

①10:00～12:00 ②14:00～16:00

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

講 師 佐賀県立九州陶磁文化館 学芸員

内 容 古陶磁を手にとってみる際の安全なマナーについて学ぶとともに、九州陶磁文化館が所蔵する古陶磁の名品を実際に手に取って鑑賞していただきます。また、作品を通して、やきものの歴史的な変遷を解説します。

鑑賞作品 九州陶磁文化館所蔵の古陶磁 10 点

対 象 高校生以上

定 員 各回 20 名ずつ

応募方法 往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加を希望する回を記載する。

応募〆切 平成 31 年 2 月 14 日 (消印有効)

受講料 800 円

参加者 第 1 回 : 5 名、第 2 回 : 8 名

<プレスリリースより>



作品鑑賞風景



講座風景

4. 印刷物等の刊行

特別企画展 図録

図録名：「寄贈記念特別企画展 人間国宝 中島宏氏寄贈 古武雄—ふるさと大地の記憶」

編集・発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：平成 30 年 10 月 6 日

規格：A4 版 281 ページ

内容：中島宏氏の寄贈品 634 件を写真掲載。主要資料はグラビア頁に紹介。

収録論考

「古武雄への想い」

中島宏

「古武雄の窯跡とその製品について—近年の調査成果から—」

東中川忠美（元佐賀県立名護屋城博物館長）

「武雄のやきもの 中島宏氏への追悼をこめて」

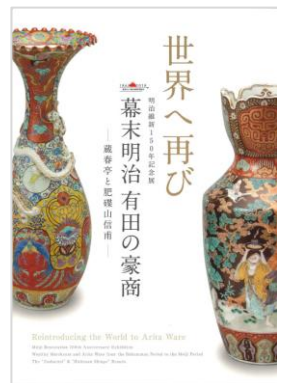
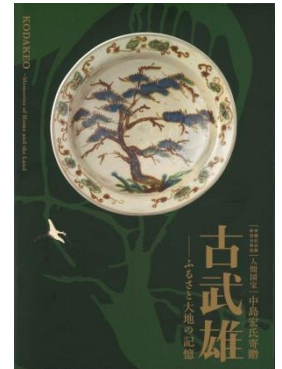
西田宏子（根津美術館顧問）

「古武雄—ふるさと大地の記憶— 武雄という産地の顕在化について」

藤原友子

「中島先生と古武雄」

鈴田由紀夫（佐賀県立九州陶磁文化館長）



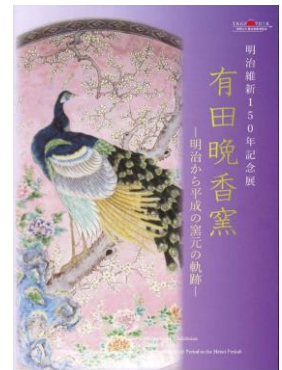
明治維新 150 年記念展小冊子

冊子名：「明治維新 150 年記念展 幕末明治 有田の豪商—蔵春亭と肥磔山信甫—」

編集・発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：平成 30 年 8 月 3 日

規格：A4 版 22 ページ



冊子名：「明治維新 150 年記念展 有田晩香窯—明治から平成の窯元の軌跡—」

編集・発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：平成 30 年 12 月 15 日

規格：A4 版 14 ページ

館報「セラミック九州」55 号

発行日：平成 31 年 3 月 22 日

規格：A4 版 8 ページ

図版：オールカラー写真・図版 34 点

内容：平成 30 年度に開催された「寄贈記念特別企画展 人間国宝 中島宏氏寄贈

古武雄—ふるさと大地の記憶」、「明治維新 150 年記念展 幕末明治

有田の豪商—蔵春亭と肥磔山信甫—」、「明治維新 150 年記念展 有田晩香窯

—明治から平成の窯元の軌跡—」ほか平成 30 年度の事業内容の報告など。



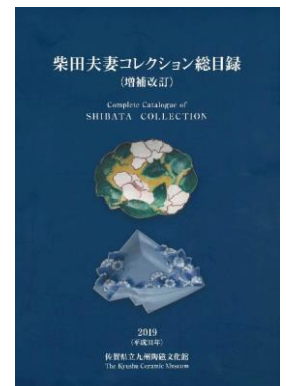
柴田夫妻コレクション総目録（増補改訂）

編集・発行：佐賀県立九州陶磁文化館

発行日：平成 31 年 3 月 29 日

規格：A4 版 580 ページ

内容：平成 15 年(2003 年)5 月に刊行した初版『柴田夫妻コレクション総目録』に未掲載の追加寄贈分と中国磁器や肥前以外の産地の可能性が高いものを追加し、柴田夫妻コレクション 4,332 件 10,311 点をすべて掲載。



5. 依頼資料調査

本館での依頼調査 64 回 (263 件 301 点)

手紙等での依頼調査 67 回 (325 件)

6. 講演など

No.	期日	演題	主催・場所	対象	講師
1	H30. 8. 25	「見えた!?!三重津海軍所 佐賀藩海軍特注磁器の謎」展 記念講演会 三重津海軍所の海を渡る蝶ー佐賀藩の近代化事業と磁器生産ー	主催：佐賀大学美術館 場所：佐賀大学	講演会参加者	徳永貞紹
2	H30. 8. 26	「見えた!?!三重津海軍所 佐賀藩海軍特注磁器の謎」展ギャラリートーク	主催：佐賀大学美術館 場所：佐賀大学美術館	ギャラリー トーク参加者	徳永貞紹
3	H30. 8. 29	佐賀のやきもの (平成 30 年度新規採用職員研修)	主催：佐賀県自治研修所 場所：佐賀県自治研修所 (レナセル)	佐賀県新規採用 職員	徳永貞紹
4	H30. 9. 5	佐賀のやきもの (平成 30 年度新規採用職員研修)	主催：佐賀県自治研修所 場所：佐賀県自治研修所 (レナセル)	佐賀県新規採用 職員	徳永貞紹
5	H30. 11. 16	寄贈記念 特別企画展「古武雄」 出前授業	主催：当館 場所：武雄市立西川登小学校	武雄市立西川登 小学校 6 年生	家田淳一 徳永貞紹
6	H31. 1. 11	寄贈記念 特別企画展「古武雄」 出前授業	主催：当館 場所：山内西小学校	山内西小学校 5 年生	藤原友子 山本文子
7	H31. 3. 8	タイ国際シンポジウム講演 International Symposium : Ancient Maritime Cross-Cultural Exchanges of Asia	主催：The Fine Arts Department, Ministry of Culture of Thailand 場所：タイ	講演会参加者	鈴木由紀夫

調査研究活動

1.調査

No.	期日	目的	調査地	調査者
1	H30. 4. 19	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子
2	H30. 4. 26	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子
3	H30. 5. 2	寄贈記念古武雄展打合せ	佐賀県内	藤原友子
4	H30. 5. 8	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子
5	H30. 5. 10	明治維新 150 年記念展講演打診	佐賀県内	鈴木由紀夫 山本文子
6	H30. 5. 16	明治維新 150 年記念展資料調査・出品交渉	佐賀県内	山本文子
7	H30. 5. 17	明治維新 150 年記念展資料調査	有田町内	山本文子 宮木貴史
8	H30. 5. 17	特別企画展打合せ	東京都	鈴木由紀夫 家田淳一 徳永貞紹
9	H30. 5. 21	明治維新 150 年記念展資料調査	有田町内	鈴木由紀夫 徳永貞紹 宮木貴史
10	H30. 5. 23	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子
11	H30. 5. 30	明治維新 150 年記念展作品借用	佐賀県内	鈴木由紀夫 山本文子
12	H30. 5. 31	寄贈記念古武雄展協力依頼	佐賀県内	藤原友子
13	H30. 6. 8	明治維新 150 年記念展資料調査・出品交渉	佐賀県内	山本文子
14	H30. 6. 15	「伝統の有田焼」再認識プロモーション事業 在外資料所在調査	ドイツ ドレスデン ピルニッツ宮殿・工芸博物館	大橋康二 鈴木由紀夫 藤原友子
15	H30. 6. 17～6. 18	明治維新 150 年記念展作品借用	長崎県立埋蔵文化財センター	山本文子
16	H30. 6. 22	資料輸送	武雄市	鈴木由紀夫 徳永貞紹
17	H30. 7. 10	寄贈記念古武雄展資料調査	佐世保市三川内 佐世保市 教育委員会	大橋康二 藤原友子 山本文子
18	H30. 7. 11	寄贈記念古武雄展資料調査	佐賀県内	藤原友子
19	H30. 7. 11	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子
20	H30. 7. 24	出前授業打合わせ	武雄市役所	中村一弘 家田淳一 柿塚敬三
21	H30. 7. 25	特別企画展打合せ	東京都	鈴木由紀夫 家田淳一 徳永貞紹
22	H30. 8. 8	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子

23	H30. 8. 9	窯跡調査現場視察	伊万里市内	大橋康二 家田淳一 徳永貞紹 宮木貴史
24	H30. 8. 30	特別企画展打合せ	東京都	家田淳一 徳永貞紹
25	H30. 9. 6	明治維新 150 年記念展作品返納	長崎県立埋蔵文化財センター	山本文子
26	H30. 9. 10	明治維新 150 年記念展資料調査	佐賀県内	山本文子
27	H30. 9. 11	人名辞典調査	佐賀県図書館	山本文子
28	H30. 9. 12	明治維新 150 年記念展作品返納	佐賀県内	山本文子 宮木貴史
29	H30. 10. 22	明治維新 150 年記念展資料調査	有田町内	鈴田由紀夫 徳永貞紹 宮木貴史
30	H30. 10. 27～10. 29	資料調査	新潟県内	徳永貞紹
31	H30. 11. 8	明治維新 150 年記念展資料調査	有田町内	宮木貴史 山本文子
32	H30. 11. 8～11. 12	資料調査	新潟県内	大橋康二 徳永貞紹
33	H31. 1. 18～1. 21	東洋陶磁学会第 46 回大会	鹿児島県鹿児島市ほか	鈴田由紀夫 家田淳一 徳永貞紹 藤原友子
34	H31. 1. 21～1. 26	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業 在外資料所在調査	アメリカ ロサンゼルス カウンティ美術館	藤原友子 宮木貴史
35	H31. 2. 1	資料調査	有田町	鈴田由紀夫 藤原友子
36	H31. 2. 18	特別企画展打合せ	東京都	家田淳一 藤原友子
37	H31. 2. 22～2. 27	資料輸送	新潟県内	徳永貞紹 藤原友子
38	H31. 3. 10～3. 17	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業 在外資料所在調査	チェコ プラハ国立美術館ほか	大橋康二 山本文子

2.調査協力など

No.	期日	内容	場所	主催・依頼等	担当者
1	H30. 5. 17	文化財担当者会議	佐賀県庁	佐賀県教育委員会	宮木貴史
2	H30. 5. 22	窯跡盗掘対策合同会議	唐津市	佐賀県文化財課	徳永貞紹 宮木貴史
3	H30. 5. 29 ～6. 1	「伝統的有田焼」再認識プロモーション 事業 学芸員招聘協議	オランダ、チェコ	佐賀県文化課	徳永貞紹
4	H30. 6. 10 ～6. 17	「伝統的有田焼」再認識プロモーション 事業 ドレスデンプロジェクト有田磁器 解説ワークショップおよびシンポジウム 参加	ドイツ ドレスデン	ドレスデン磁器研究 プロジェクト	大橋康二 鈴田由紀夫 藤原友子
5	H30. 6. 27 ～6. 29	陶磁ネットワーク会議	滋賀県立陶芸の森ほか	陶磁ネットワーク	平川裕子 徳永貞紹
6	H30. 6. 28 ～7. 1	「伝統的有田焼」再認識プロモーション 事業 学芸員招聘協議	米国ロサンゼルス	ロサンゼルス カウンティミュージアム	鈴田由紀夫

7	H30. 7. 19	平成 30 年度佐賀県文化財担当者会議	佐賀県庁	佐賀県文化財課	宮木貴史
8	H30. 10. 24	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業	佐賀大学	佐賀県文化課	徳永貞紹 宮木貴史
9	H30. 10. 24	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業	佐賀県立有田工業 高等学校	佐賀県文化課	山本文子
10	H30. 10. 25	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業	有田町内	佐賀県文化課	鈴木由紀夫 家田淳一 徳永貞紹 藤原友子 宮木貴史 山口由佳
11	H30. 10. 26	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業	佐賀市内	佐賀県文化課	鈴木由紀夫 中村一弘 家田淳一 藤原友子
12	H31. 1. 7 ～1. 9	タイ王国文化芸術局との有田焼構想に係る打合せ	タイ	佐賀県文化課	家田淳一
13	H31. 2. 5	長崎県文化財保護審議会 平成 30 年度第二審議会	出島交流会館	長崎県教育委員会	藤原友子
14	H31. 2. 6 ～2. 8	タイ王国文化省芸術局訪問	タイ	佐賀県文化課	家田淳一
15	H31. 2. 7	第 7 回文化財保護対策等佐賀県協議会	佐賀県庁	佐賀県文化財課	宮木貴史

3.大韓民国国立光州博物館との学術交流協定書締結

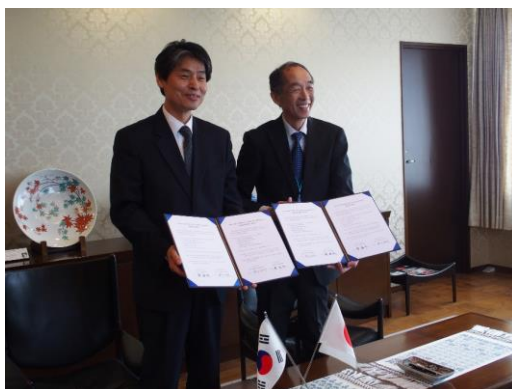
平成 31 年 3 月 27 日（水曜日）に韓国の全羅南道光州広域市に所在する大韓民国国立光州博物館と、陶磁器研究を中心とした「日本国・佐賀県立九州陶磁文化館と大韓民国・国立光州博物館における学術交流に関する協定書」を締結しました。

九州陶磁文化館は、これまで陶磁器を所蔵研究している欧米、アジアなどの博物館、美術館と肥前の陶磁器の調査研究を介した交流事業を行ってきました。

今回の学術交流協定もその一環として、韓国の国立博物館の中で、陶磁器を主なテーマとして活動を行うこととなった光州博物館と相互の陶磁器研究の発展を目的として行うもので、光州博物館の金承熙（キム・スンヒ）館長と当館鈴木由紀夫館長によって協定を締結書への署名が行われ、今後の交流が約束されました。

締結内容の概要

- (1) 締結期間 2019年3月27日～2024年3月26日（5年間）
- (2) 活動内容 両館は、各自の条件が許す範囲の中で、次の5項目についての活動を行う。
1. 所蔵品の相互貸借及び展覧会の開催
 2. 共同研究及び学術研究大会等の学術活動
 3. 研究者の相互訪問及び研修
 4. 学術情報及び学術刊行物の交換
 5. その他、両館における交流及び親善促進に関する事項



締結式の様子（向かって左が金承熙館長）

資料収集活動

1. 陶磁資料の収集

平成 30 年度は寄贈資料 165 件 177 点、購入資料 1 件 1 点を収蔵し、
総計 14,162 件 25,773 点 となる。

2. 図書資料の収集

報告書	205
目録	10
紀要	147
海外	36
図録	197
年報	92
一般図書	54
その他	62
合計	803

佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 平成 30 年度 (2018.4 ~2019.3)

凡 例

1. この資料目録は、平成 30 年度（平成 31 年 3 月 31 日現在）の収蔵資料 165 件 177 点（寄贈）、および 1 件 1 点（購入）を掲載した。

寄贈	165 件	177 点
管理換	0 件	0 点
購入	1 件	1 点

平成 30 年度末の館蔵品総数は 14,162 件、25,773 点 である。

2. 「収蔵番号」は、収蔵登録番号と収蔵年度で〈00000-30〉と表示した。
3. 法量の単位はセンチメートルである。
4. 平成 16 年度分類より大区分の一部を変更した。
 - (1) 「近代資料」（旧：幕末・近代資料）は、以下の 2 項目とする。
 130. 佐賀県 近代 （旧：幕末・近代資料 佐賀県）
 140. 九州（県外） 近代 （旧：幕末・近代資料 九州（県外））
 - (2) 「九州以外 他」を旧「幕末・近代資料」から分離、新たにつくり時代順とした。
 150. 九州以外 近世 （旧 160. 九州以外の陶磁器）
 160. 九州以外 近代 （旧 150. 幕末・近代資料 九州以外）
 170. 陶磁器関連資料（文書・図案など）
5. 平成 27 年度に該当のない分類項目は、目録から省略している。
6. 現代作家作品については、「産地」に「作家名」を入れた。

収蔵番号	資料名	点数	生産地	年代	口径	高さ	底径	備考
【011. 唐津系陶器】								
14024	30 象嵌鶴文大皿	1	肥前 小田志	1630~1650年代	35.6	7.6	14	寄贈 中島宏コレクション
14025	30 象嵌紅葉唐草文大皿	1	肥前 武雄 小田志	1640~1660年代	30.8	7.4	12.6	寄贈 中島宏コレクション
14026	30 緑褐釉櫛目文大皿	1	肥前 武雄 小田志 もしくは庭木	1650~1690年代	30.5	7.5	10	寄贈 中島宏コレクション
14027	30 緑褐釉櫛目文大皿	1	肥前 武雄 小田志 もしくは庭木	1650~1690年代	42.4	12.7	13.8	寄贈 中島宏コレクション
14028	30 打刷毛目文大皿	1	肥前 武雄 小田志	1690~1740年代	31	8.9	12	寄贈 中島宏コレクション
14029	30 鉄絵緑彩山文大皿	1	肥前 武雄南部系	18世紀後半~19世紀	48.4	16.8	13.9	寄贈 中島宏コレクション
14030	30 緑褐釉櫛目文皿	1	肥前 武雄	17世紀第4四半期~ 18世紀第1四半期	28.6	6	11.2	寄贈 中島宏コレクション
14031	30 鉄絵緑彩松樹文甕	1	肥前 武雄 弓野	17c 第4四半期~ 18c 第1四半期	30.8	37.3	15.3	寄贈 中島宏コレクション
14032	30 刷毛目「弓野 福島氏」銘甕	1	肥前 武雄 弓野	18c 後半~19c	31.6	27.3	15.3	寄贈 中島宏コレクション
14033	30 鉄絵松樹文甕	1	肥前 武雄 弓野	18c 後半~19c	36.1	28	15.4	寄贈 中島宏コレクション
14034	30 緑褐釉耳付瓶	1	肥前 武雄 小田志	1630~1650年代	4.9	15.8	6.7	寄贈 中島宏コレクション
14035	30 文字徳利	1	肥前 武雄 弓野か	18c 前半	6	39.5	12.8	寄贈 中島宏コレクション
14036	30 鉄絵緑彩松樹文深鉢	1	肥前 武雄 小田志	18世紀前半~中葉	36.5	22.5	13.5	寄贈 中島宏コレクション
14037	30 緑釉褐彩刻花唐花唐草文四耳壺	1	肥前 武雄 小田志	1650~1690年代	13.2	28.8	14.2	寄贈 中島宏コレクション
14038	30 象嵌文双耳水指	1	肥前もしくは豊前	1600~1630年代	12	17.8	13.4	寄贈 中島宏コレクション
14039	30 緑釉鎬文水指	1	肥前 武雄	1630~1650年代	8.3	15.5	11.5	寄贈 中島宏コレクション
14040	30 象嵌鶴鷺文水指	1	肥前 武雄 小田志 もしくは庭木	1630~1650年代	9.9	16	13.9	寄贈 中島宏コレクション
14041	30 打刷毛目文水指	1	肥前 武雄 小田志	17世紀末~18世紀前半	12	18.3	10.3	寄贈 中島宏コレクション
14042	30 象嵌文碗	1	肥前 武雄 大草野か	1600~1630年代	14.8	10.1	7.5	寄贈 中島宏コレクション
【030. 古伊万里様式】								
13999	30 染付山水文細首瓶	1	肥前・有田窯	1780~1820年代	1.6	21.5	7.5	寄贈 大坪眞理
14000	30 染付傘蛙文輪花鉢	1	肥前・有田窯	1820~1860年代	27.7	11.8	11.1	寄贈 大坪眞理
14001	30 染付鯉文大皿	1	肥前・志田窯	1820~1860年代	44.1	7.8	23	寄贈 大坪眞理
14002	30 染付獅子花唐草文八角鉢	1	肥前・有田窯	1800~1840年代	23	12.2	11.8	寄贈 大坪眞理
14003	30 染付山水文角形水注	1	肥前	19世紀前半~中葉	0.7× 0.6	6	18.2× 16.6	寄贈 大坪眞理
14004	30 染付花鳥文大皿	1	肥前・有田窯	1670~1680年代	31.2	6.5	15.2	寄贈 溝口孝
14005	30 色絵花文長皿	5	肥前・有田窯	18世紀後半	17× 10.2	3.9	12.8× 5.4	寄贈 溝口孝
14019	30 色絵人物文魚形蓋物	2	肥前・有田 蔵春亭三保	1840~1860年代	21.2× 15.2	17.5,	16.1× 12.2,	寄贈 山口裕也・山口智也
14020	30 色絵竹林人物文蓋物	1	肥前・有田 蔵春亭三保	1840~1860年代	31.2	16.6	15	寄贈 山口智也
14023	30 染付唐人物文大皿	1	肥前・有田窯	1660~1670年代	45.6	10.3	26.2	寄贈 富樫光子
14052	30 染付舟山水文皿	1	肥前 有田	1640年代	21	3	8.7	寄贈 今泉吉郎・吉博コレクション
14053	30 染付花籠文皿	1	肥前 有田	1640年代	21	2.5	9.5	寄贈 今泉吉郎・吉博コレクション

14054	30	染付唐人文輪花皿	1	肥前	有田	1640年代頃	23.9	6.1	11.6	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14055	30	染付東屋山水文輪花小皿	1	肥前	有田	1640年代	15.5×13	2.8	7.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14056	30	色絵石榴文輪花小皿	1	肥前	有田	1640年代	14	2.7	8.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14057	30	染付馬文捻花形輪花台付皿	1	肥前	有田	1640年代頃	22.6	6.7	10.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14058	30	白磁捻花唐草文皿	1	肥前	有田	1640年代(～1650年代)	22.6	3	11	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14059	30	色絵牡丹文皿	1	肥前	有田	1640～1650年代	21.5	4.7	8.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14060	30	染付青磁青海波文合子	1	肥前	有田	1640～1650年代	19.7	10.3	9	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14061	30	色絵椿文皿	1	肥前	有田	1650年代	16.1	1.8	9.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14062	30	色絵家屋網干文大皿	1	肥前	有田	1650年代	34.8	8.2	14.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14063	30	色絵葉文大皿	1	肥前	有田	1650年代	42	8.3	16.7	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14064	30	染付草水草文皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	19.7	3.5	10	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14065	30	染付船人物文輪花大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	31.4	7	14.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14066	30	染付水鳥文大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	50.7	11.6	24.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14067	30	染付牡丹鳥梅文大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	41.5	8.9	19.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14068	30	染付椿竹梅鳥文大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	41.7	6.9	20.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14069	30	染付牡丹松竹梅文大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	41.6	9	18	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14070	30	染付牡丹文大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	45	10.1	19	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14071	30	青磁魚文大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	45.1	12.1	22.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14072	30	青磁竹雀花唐草文輪花大皿	1	肥前	有田	1650～1660年代	33	6.4	18.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14073	30	染付鷺唐草文大鉢	1	肥前	有田	1650～1660年代	35.2	12.9	14	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14074	30	色絵鳥文大鉢	1	肥前	有田	1650～1660年代	30.1	13.2	11.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14075	30	白磁瑠璃釉色絵龍虎文変形瓶	1	肥前	有田	1650～1660年代	2.9	24.9	12.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14076	30	色絵沙綾形市松文瓶	1	肥前	有田	1650～1660年代	2.9	22.7	7	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14077	30	瑠璃釉菊岩文輪花皿	1	肥前	有田	1650～1670年代	22.7	6.7	12.1	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14078	30	染付家屋山水文大皿	1	肥前	有田	1655～1660年代	41	8.9	18.3	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14079	30	染付山水唐草文大皿	1	肥前	有田	1655～1660年代	33	7.9	15.1	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14080	30	染付家屋松竹梅文大皿	1	肥前	有田	1655～1660年代	36.6	8.7	16.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14081	30	染付水鳥唐草文大皿	1	肥前	有田	1655～1660年代	36.2	7.4	17.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14082	30	染付網干舟松竹文大皿	1	肥前	有田	1655～1660年代	46	12.3	23.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14083	30	染付竹芭蕉文蓋物	1	肥前	有田	1655～1660年代	20.7	11.4	10.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14084	30	瑠璃釉色絵桐文瓢形瓶	1	肥前	有田	1655～1660年代	2.6	21.2	7.1	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14085	30	色絵秋草文瓶	1	肥前	有田	1655～1660年代	1.8	21.2	6.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14086	30	染付家屋山水文壺	1	肥前	有田	1655～1660年代	11.5	33.4	13.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14087	30	白磁瑠璃釉龍虎文角瓶	1	肥前	有田	1655～1660年代頃	3.4	31.2	12.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14088	30	色絵樹木岩草花文鉢	1	肥前	有田	1655～1670年代	21.6	10.2	9.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション

14089	30	染付柘榴文大皿	1	肥前	有田	1660年代頃	30.5	4.8	17.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14090	30	色絵花文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	26.8	5	15.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14091	30	色絵団龍文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	24.2	2.5	14.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14092	30	白磁松竹梅鶴亀文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.2	3.5	13	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14093	30	染付折枝梅文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.8	3.3	13.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14094	30	色絵花鳥亀甲繫文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	24	5.5	12.1	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14095	30	染付芦雁松竹梅文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.3	3.5	13.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14096	30	染付雲花唐草文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	22	3	13	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14097	30	染付捻花唐草文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.1	4.3	9.3	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14098	30	染付鳳凰草文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	20.5	3.2	14.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14099	30	染付雪輪竹文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.3	3	11.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14100	30	染付岩山水文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21	3.3	13	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14101	30	染付魚家屋文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.6	3.2	12.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14102	30	染付鹿松文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.3	3.2	13.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14103	30	染付芭蕉岩文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21	3.2	13.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14104	30	染付芭蕉文皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.4	3.3	13	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14105	30	染付菖蒲文大皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	34.8	7.1	19	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14106	30	染付草花文八角大皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	46	11.2	21.6	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14107	30	染付芦雁雲文大皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	33.2	4.5	19	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14108	30	染付色紙唐花唐草鴛鴦文変形皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	24.6×19	4.3	15×11	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14109	30	染付色紙唐花唐草文変形小皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	15×12.5	3	10×7	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14110	30	染付折枝梅葉文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.6	3.5	13.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14111	30	染付松鳥文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.9	3.6	14.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14112	30	染付色紙山水軍配牡丹唐草文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	26.2	5	13.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14113	30	染付芭蕉鳳凰文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21	2.8	13.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14114	30	染付捻草花文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1670年代	21.4	3.9	8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14115	30	白磁松竹梅文輪花皿	1	肥前	有田	1660~1690年代	25	4	16.1	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14116	30	染付鶴文皿	1	肥前	有田	1660~1690年代	21.8	3.3	13	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14117	30	染付東屋山水文輪花大皿	1	肥前	有田	1660~1690年代	30.8	10.1	15.1	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14118	30	染付松鳥文輪花大皿	1	肥前	有田	1660~1690年代	31.3	8.1	16.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14119	30	染付花鳥文甕	1	肥前	有田	1660~1690年代	38	26.8	21.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14120	30	染付家屋山水文大鉢	1	肥前	有田	1660~1690年代	39.2	13.3	17.9	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14121	30	染付花束花卉文皿	1	肥前	有田	1670年代	21.2	3	12.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14122	30	染付人物透彫輪繫文皿	1	肥前	有田	1670~1690年代	24.2	7.5	14.3	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14123	30	染付竹鳥牡丹唐草文大皿	1	肥前	有田	1670~1690年代	31.5	5.7	17.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション

14124	30	色絵鳳凰文八角小皿	1	肥前 有田	1670～1690年代	15.1	2.8	11	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14125	30	染付梅唐草文菊花形皿	1	肥前 有田	1670～1690年代	16	3.5	9.3	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14126	30	染付花盆唐草文大皿	1	肥前 有田	1670～1700年代	39	6.5	19.7	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14127	30	青磁菊花形皿	1	肥前 有田	1670～1710年代	19.7	3.5	12.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14128	30	染付三果文大皿	1	肥前 有田	1680～1700年代	33.5	6.9	19.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14129	30	染付山水文輪花大皿	1	肥前 有田	1680～1700年代	31.5	7.8	16.7	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14130	30	染付家屋山水捺文大鉢	1	肥前 有田	1680～1700年代	37.8	16.6	16	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14131	30	染付花盆唐草文輪花大皿	1	肥前 有田	1680～1720年代	38.8	8	20.3	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14132	30	色絵唐花唐草文小皿	1	肥前 有田	1690～1710年代	15	4.4	5.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14133	30	色絵柘榴花鳥文瓶	1	肥前 有田	1690～1710年代	3.3	22.1	8.7	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14134	30	色絵牡丹菊梅文皿	1	肥前 有田	1690～1730年代	25.2	3.8	16	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14135	30	色絵唐花唐草文皿	1	肥前 有田	1690～1730年代	20	3.5	12.3	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14136	30	色絵菊花牡丹椿文大皿	1	肥前 有田	1690～1730年代	30.9	5.7	17	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14137	30	色絵雲草花四方襷文鉢	1	肥前 有田	1690～1730年代	21.4	8.9	8.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14138	30	色絵菊牡丹文瓢形瓶	1	肥前 有田	1690～1730年代	3.3	15.2	5.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14139	30	染付吹墨紅葉雪輪文皿	1	肥前 有田	1700～1740年代	19	3.5	12	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14140	30	錆釉蓋物	1	肥前 有田	1700～1760年代	15	13	7.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14141	30	染付蓮鳥文輪花皿	1	肥前 有田	1800年頃か、18世紀第4四半期頃	21.2	3	15.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14142	30	青磁団龍文輪花大皿	1	肥前 有田	18世紀	39.5	9.4	19.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14143	30	染付花唐草文輪花皿	1	肥前 有田	18世紀後半	22	4	14.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14144	30	錆瑠璃釉白磁雲龍文筒形瓶	1	肥前 有田	19世紀か(江戸後期)	9.7	24	10	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14145	30	染付牡丹文大皿	1	肥前・鍋島藩窯	1690～1730年代	32.7	8.9	15.8	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14146	30	染付凌霄花文皿	1	肥前・鍋島藩窯	1710～1730年代	20	5.5	11.2	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14147	30	色絵牡丹文大皿	1	肥前・吉田窯	1650年代	31.5	7	14.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14148	30	色絵印判手仙境図文大皿	1	肥前・吉田窯	1650～1660年代	34.3	8.1	16.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14151	30	練込角瓶	1	不詳 肥前の可能性あるが李朝等の可能性も?	19世紀か	3.4	18.1	11.4	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14153	30	色絵花鳥文皿	1	肥前	1850年代(1854～1860年頃)	12.5	2	4.6	寄贈	山口裕也
14154	30	色絵花見人物文大皿	1	肥前 有田 蔵春亭三保	1840～1860年代	31	4.2	18	寄贈	山口裕也
14156	30	色絵花鳥文透入八角皿	1	肥前 有田	1840～1870年代	26	4.2	13.5	寄贈	山口裕也
14159	30	色絵龍花蝶文瓶	1	肥前・有田 蔵春亭三保	1840～1860年代	13.3	35.7	14	寄贈	山口裕也・山口智也
【051. 鍋島藩窯様式】										
13998	30	染付灘越蝶文大皿	1	肥前・鍋島藩窯	1800～1860年代	34.3	9.8	17.3	寄贈	川崎ふみ子
【060. 長崎の陶磁器】										
14006	30	染付褐釉亀形香合	1	肥前・三川内窯	19世紀後半	4.5	3.7		寄贈	溝口孝
14007	30	釉描彩詩句文徳利	1	肥前・鵬崎焼	1820～1850年代	3.2	15.2	4.6	寄贈	溝口孝

14008	30	染付山水文徳利	1	肥前・亀山窯	1800~1860年代	3	15.5	6	寄贈	溝口孝
14009	30	染付菊文徳利	1	肥前・亀山窯	1800~1860年代	3.1	15.2	6.1	寄贈	溝口孝
14010	30	染付梅樹文長皿	1	肥前・亀山窯	1800~1860年代	25.8× 20.2	4.4	14.2× 9.3	寄贈	溝口孝
14011	30	染付鳳凰文鉢	1	肥前・亀山か	1800~1860年代	21.8	10.1	11.2	寄贈	溝口孝
14012	30	染付山水文散蓮華形鉢	5	肥前・亀山窯	1800~1860年代	11.5× 7.3	9.3	6× 4.7	寄贈	溝口孝
14013	30	染付花文皿	1	肥前・亀山窯	1800~1860年代	13.6	4.8	5.4	寄贈	溝口孝
14014	30	染付山水文手桶形鉢	1	肥前・亀山窯	1800~1860年代	15	12.4	10.2	寄贈	溝口孝
14015	30	染付竹林文香合	1	肥前・亀山窯	1800~1860年代	5.9	3.1	2.9	寄贈	溝口孝
14016	30	刷毛目海草蛤文輪花皿	2	肥前・現川窯	1690~1730年代	14.6	4.5	7.1	寄贈	溝口孝
14149	30	青磁花文大皿	1	肥前・波佐見窯	1660~1690年代	37.4	9.3	15	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
14150	30	青磁果実文大皿	1	肥前・波佐見窯	1660~1690年代	37.5	7.4	14.5	寄贈	今泉吉郎・吉博コレクション
【070. 福岡の陶磁器】										
14043	30	褐釉波縁皿	1	福岡	1630~1650年代	22.7	6.5	7.9	寄贈	中島宏コレクション
【130. 佐賀県 近代】										
14021	30	色絵柘榴文碗皿	2	肥前・有田 肥山信甫	1850~1870年代	9.7(碗) 12.6(皿)	5.1(碗) 2.3(皿)	3.5(碗) 6.3(皿)	寄贈	山口智也
14022	30	色絵花鳥文把手付碗皿	1	肥前・有田 肥山信甫	1860~1870年代	10.2(碗) 13.2(皿)	3.5(碗) 2.5(皿)	3.2(碗) 6.6(皿)	寄贈	山口智也
14044	30	染付含珠遠山桜花文水指	1	肥前 武雄 樋口治實 小田志	明治19年~30年代 (1886~1906年)	14.5	19.5	10.7	寄贈	中島宏コレクション
14045	30	染付含珠波菊花文鉢	1	肥前 武雄 樋口治實 小田志	明治19年~30年代 (1886~1906年)	18.9	7.7	7.1	寄贈	中島宏コレクション
14046	30	染付含珠枝垂桜文取手付湯冷	1	肥前 武雄 樋口治實 小田志	明治19年~30年代 (1886~1906年)	13.2	5	5	寄贈	中島宏コレクション
14047	30	含珠菊桐文碗	1	肥前 武雄 樋口治實 小田志	明治19年~30年代 (1886~1906年)	13.5	5.7	6	寄贈	中島宏コレクション
14048	30	染付含珠盃	2	肥前 武雄 樋口治實 小田志	明治19年~30年代 (1886~1906年)	6	2.8	2.4	寄贈	中島宏コレクション
14049	30	染付銘六角タイル	1	肥前 武雄 松尾喜三郎 小田志	明治12年(1880)	14.4× 12.4	厚1.6	14× 12.2	寄贈	中島宏コレクション
14050	30	釉下彩龍文擬宝珠	1	肥前 武雄 松尾喜三郎 小田志	明治	13.6	40.7	15.3	寄贈	中島宏コレクション
14155	30	色絵花鳥文輪花皿	1	肥前 有田	1860~1870年代	23.5	3.2	12.9	寄贈	山口裕也
14157	30	色絵花山水文皿	1	肥前 有田	1860~1870年代	22.4	3.3	13.5	寄贈	山口裕也
14160	30	色絵花卉文皿	1	肥前・有田 肥山信甫	1860~1880年代	21.7	2.4	12.1	寄贈	山口裕也
14161	30	色絵団龍唐草文瓶	1	佐賀県・有田 香蘭社	1875(明治8)年~ 1880年代	3.5	30.9	9.6	寄贈	井本裕
14162	30	染付雪輪扇面丸文瓢形大瓶	1	佐賀県・白石焼	1898(明治31)年	5.8	59.4	15	寄贈	井本裕
【140. 九州 (県外) 近代】										
14158	30	色絵人物山水樹鳥文碗皿	1	肥前・三川内	1870~1880年代	8.1(碗) 12.9(皿)	8.6(碗) 1.9(皿)	3.9(碗) 4.6(皿)	寄贈	山口智也
【180. 中国の陶磁器】										
14018	30	染付花唐草文小壺	1	中国 景德鎮窯	16世紀	3	8.5	5	寄贈	伊藤千尋
14051	30	三彩貼花唐草文五耳壺	1	中国 福建・広東	16世紀末~17世紀初頭	13	30.6	18.5	寄贈	中島宏コレクション
【210. ヨーロッパの陶磁器】										
14152	30	銅版染付人物文皿	1	オランダ・マーストリヒト・ペトルス・レグー窯	1906~1923年頃	22.7	3.2	13.6	寄贈	Menno Fitski

【230. 現代作家 佐賀県 1】

14163	30	青瓷線彫文壺	1	中島 宏 佐賀県 (1941~2018)	平成 21 年 (2009)	10	26.2	16	購 入	九州陶磁文化館
-------	----	--------	---	-------------------------	----------------	----	------	----	-----	---------

【260. 現代作家 福岡県】

14017	30	彩陶扁壺	1	石原祥嗣 福岡県 (1943~)	平成 30 年 (2018)	19.1× 8.1	35	13.2× 12.4	寄 贈	石原祥嗣
-------	----	------	---	---------------------	----------------	--------------	----	---------------	-----	------

資料件数一覧

		S53～H29						H30						合計					
		件数			点数			件数			点数			件数			点数		
		購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計
近世の肥前陶磁	011.唐津系陶器	49	844	893	61	889	950	0	19	19	0	19	19	49	863	912	61	908	969
	021.初期伊万里様式	37	215	252	62	338	400	0	0	0	0	0	0	37	215	252	62	338	400
	030.古伊万里様式	285	5001	5286	507	12376	12883	0	112	112	0	117	117	285	5113	5398	507	12487	13000
	031.古伊万里・正保様式	57	167	224	109	268	377	0	9	9	0	9	9	57	176	233	109	277	386
	032.古伊万里・承応様式	8	283	298	20	462	482	0	0	0	0	0	0	8	283	291	20	462	482
	033.古伊万里・寛文様式	62	941	1003	116	1763	1879	0	57	57	0	57	57	62	998	1060	116	1820	1936
	034.古伊万里・延宝様式	37	834	871	58	1895	1953	0	14	14	0	14	14	37	848	885	58	1909	1967
	035.古伊万里・元禄様式	86	1341	1427	132	3358	3490	0	16	16	0	16	16	86	1357	1443	132	3374	3506
	036.古伊万里・宝暦様式	7	437	444	21	1667	1688	0	1	1	0	5	5	7	438	445	21	1667	1693
	037.古伊万里・天明様式	5	550	554	21	1646	1667	0	2	2	0	2	2	5	552	557	21	1648	1669
	038.古伊万里・文政様式	23	448	471	30	1317	1347	0	13	13	0	14	14	23	461	484	30	1330	1361
	041.柿右衛門様式	29	89	118	33	201	234	0	0	0	0	0	0	29	89	118	33	201	234
051.鍋島藩窯様式	56	142	198	68	410	478	0	1	1	0	1	1	56	143	199	68	411	479	
	小計	456	6291	6747	731	14214	14945	0	132	132	0	137	137	456	6423	6879	731	14345	15082
近世の九州陶磁(県外)	060.長崎の陶磁器	51	96	147	121	225	346	0	13	13	0	18	18	51	109	160	121	243	364
	070.福岡の陶磁器	39	184	223	43	199	242	0	1	1	0	1	1	39	185	224	43	200	243
	080.熊本の陶磁器	31	123	154	61	148	209	0	0	0	0	0	0	31	123	154	61	148	209
	090.大分の陶磁器	3	2	5	3	2	5	0	0	0	0	0	0	3	2	5	3	2	5
	100.宮崎の陶磁器	2	1	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3
	110.鹿児島島の陶磁器	62	75	137	63	90	153	0	0	0	0	0	0	62	75	137	63	90	153
	120.沖縄の陶磁器	77	18	95	77	18	95	0	0	0	0	0	0	77	18	95	77	18	95
	小計	265	499	764	370	683	1053	0	14	14	0	19	19	265	513	778	370	702	1072
代近料資	130.佐賀県 近代	36	838	874	58	1808	1866	0	14	14	0	16	16	36	852	888	58	1824	1882
	140.九州(県外) 近代	8	83	91	9	232	241	0	1	1	0	1	1	8	84	92	9	233	242
	小計	44	921	965	67	2040	2107	0	15	15	0	17	17	44	936	980	67	2057	2124
外以州九	150.九州以外 近世	10	354	364	19	487	506	0	0	0	0	0	0	10	354	364	19	487	506
	他	4	153	157	4	280	284	0	0	0	0	0	0	4	153	157	4	280	284
	170.陶磁器関連資料(文書・図案など)	8	1960	1968	15	2602	2617	0	0	0	0	0	0	8	1960	1968	15	2602	2617
	小計	22	2467	2489	38	3369	3407	0	0	0	0	0	0	22	2467	2489	38	3369	3407
世界の陶磁器	180.中国の陶磁器	29	871	900	38	1309	1347	0	2	2	0	2	2	29	873	902	38	1311	1349
	190.朝鮮の陶磁器	0	110	110	0	112	112	0	0	0	0	0	0	0	110	110	0	112	112
	200.アジアの陶磁器	0	37	37	0	37	37	0	0	0	0	0	0	0	37	37	0	37	37
	210.ヨーロッパの陶磁器	39	32	71	40	69	109	0	1	1	0	1	1	39	33	72	40	70	110
	220.その他の世界の陶磁器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	68	1050	1118	78	1527	1605	0	3	3	0	3	3	68	1053	1121	78	1530
現代作家作品	230.佐賀県 I	48	1647	1695	48	2123	2171	1	0	1	1	0	1	49	1647	1696	49	2123	2172
	240.佐賀県 II 松本佩山	0	87	87	0	126	126	0	0	0	0	0	0	0	87	87	0	126	126
	250.長崎県	3	14	17	3	14	17	0	0	0	0	0	0	3	14	17	3	14	17
	260.福岡県	4	25	29	4	64	68	0	1	1	0	1	1	4	26	30	4	65	69
	270.熊本県	2	7	9	2	7	9	0	0	0	0	0	0	2	7	9	2	7	9
	280.大分県	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	290.宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	300.鹿児島県	2	3	5	2	3	5	0	0	0	0	0	0	2	3	5	2	3	5
	310.沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	320.九州以外	2	52	54	2	62	64	0	0	0	0	0	0	2	52	54	2	62	64
	330.国外	2	14	16	2	15	17	0	0	0	0	0	0	2	14	16	2	15	17
		小計	63	1850	1913	63	2415	2478	1	1	2	1	1	2	64	1851	1915	64	2416
	合計	918	13078	13996	1347	24248	25595	1	165	166	1	177	178	919	13243	14162	1348	24425	25773

佐賀県立九州陶磁文化館年報・資料目録

平成 30 年度 No.38

発 行 日 令和元年(2019年)7月26日

編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

〒844-8585

佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1

TEL 0955-43-3681

FAX 0955-43-3324

<https://saga-museum.jp/ceramic/>

E-mail:kyuto@pref.saga.lg.jp

